

伊豆諸島青ヶ島の維管束植物

An Annotated Checklist of the Vascular Plants of Aogashima Island in the Izu Islands, Japan

勝山輝男¹⁾・支倉千賀子²⁾・小久保恭子²⁾Teruo KATSUYAMA¹⁾, Chikako HASEKURA²⁾ & Kyoko KOKUBO²⁾

Abstract. Aogashima Island belongs to the Izu Islands and locates in the apporoximately 67 km south of the Hachijo Island. We had a chance to botanize the island in 2008 and in 2010, and we collected 334 species. In this paper, we provide an annotated checklist of the vascular plants of the island, which is based on our collection combined with the previous study. Ninety two species were newly recorded from the island in this survey, and most of them were naturalized plants or ruderal plants. On the other, we could not find forty five species which had been recorded in the previous study. We rediscovered *Lactuca aogashimensis* which was based on the specimen from Aogashima Island. And we propose the new status, *Lactuca raddeana* var. *aogashimensis* because it is an insular type taxa of *Lactuca raddeana* var. *elata* which is widely distributed in the mainland of Japan.

Key words: flora, vascular plants, Aogashima Island, Izu Islands, *Lactuca raddeana* var. *aogashimensis*

はじめに

伊豆諸島は富士火山帯に属する火山島で、北から大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島が連なり、さらに 67 km 離れて青ヶ島がある (Fig. 1)。青ヶ島の維管束植物相をはじめて報告したのは津山 (1938) で 109 種が報告された。水島 (1955) は青ヶ島の植物相に関する報告としては、もっともまとまったもので、236 種を報告し、一部、分類学的な検討も行っている。東京都教育委員会編 (1960) も青ヶ島の植物に触れているが、植物リストは八丈島とあわせたもので、青ヶ島の植物リストとしては使えない。もっとも新しい植物リストは嶋根 (1980) によるもので、栽培植物も含めて 327 種が報告された。しかし、その後の植物調査は散発的なもので、標本の集積も十分ではない。青ヶ島のスゲ属植物相を明らかにするとともに、青ヶ島産の新しい維管束植物リストを作成することを目的に、2008 年 4

月 25 ~ 28 日、7 月 4 ~ 7 日、9 月 12 ~ 15 日、11 月 23 ~ 26 日の 4 回、青ヶ島に渡り植物調査を行った。また、2010 年 7 月 18 ~ 21 日に再度、島に渡る機会があり、若干の補充調査を行うことができた。スゲ属植物については勝山 (2010)、日本新産帰化植物ヒメクリガヤツリ *Cyperus retrorsus* Chapm. については勝山 (2009) で報告した。本報では、採集した標本と文献記録に基づき、青ヶ島の維管束植物リストを作成した。

本調査を実施するにあたっては、藤原ナチュラルヒストリー財団の平成 19 年度学術研究助成を受けた。また、2010 年の調査は、東京都の絶滅危惧植物調査として行ったものである。青ヶ島の調査を始めるにあたっては小田原市在住の近藤孫一氏に協力していただき、青ヶ島の多くの方々にお世話になった。2010 年の調査では東京大学の池田 博 博士と首都大学東京の加藤英寿博士が同行し、標本の属性データを提供していただいた。シダ植物の一部の同定は藤沢市の岡武利氏、国立科学博物館の海老原 淳博士をわずらわせた。また、東京大学小石川植物園、東京大学総合研究博物館の標本の閲覧に際しては、ハーバリウムの関係者にお世話になった。この場を借りてこれらの方々には厚く御礼申し上げる。

¹⁾ 神奈川県立生命の星・地球博物館
〒250-0031 小田原市入生田 499
Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara 250-0031, Japan
katsu@nh.kanagawa-museum.jp

²⁾ 神奈川県植物誌調査会
〒250-0031 小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館
The Flora-Kanagawa Association
c/o Kanagawa Prefectural Museum of Natural History
499 Iryuda, Odawara 250-0031, Japan

調査地の概要

青ヶ島は 2 重式成層火山で、南北にやや長い楕円形を成し、国土地理院の 2 万 5 千分の 1 地形図で測ると、南

北 3.25 km、東西 2.50 km ある (Fig. 1)。周囲は著しく海蝕を受けた断崖で、100 ~ 200 m の崩れやすい絶壁になっている。外輪山は直径約 1.8 km ほどの環状で、内側には火口原と中央火口丘がある。外輪山は北側で標高が高く、大凸部が標高 423 m で島の最高所となり、南側は低く最低鞍部は標高 150 m に達しない。裾野の発達が悪く、北 ~ 北西方面になだらかな斜面がのびているが、他は急傾斜のまま海蝕崖に続いている。火口原は池之沢と呼ばれ、標高 80 ~ 90 m の平坦地となっている。中央火口丘の丸山は標高 211 m あり、山頂に大穴・小穴の二つの火口がある。火口原は溶岩に被われている所が多い。丸山の西側斜面と外輪山大凸部の内壁は広範囲にわたり地熱が高く、所々噴気が出ている。噴気には有毒ガスは含まれず、噴気口に隣接して植物が生育している。水流のある川 (沢) はなく、外輪山の北と北西方面に枯れた沢が数本あるにすぎない。湧水は外輪山東側の内壁に 1ヶ所あり、崖から水が滴り落ち、大橋水源と呼ばれている。集落は岡部のみで、外輪山の北側裾野の標高 250 ~ 300 m 付近にある。

青ヶ島の植生は 1783 年 (天明 3 年) および 1785 年 (天明 5 年) の火山噴火により壊滅的に破壊され、現在の植生はその後に回復したものと考えられている (水島, 1955)。海蝕崖の風衝地はハチジョウススキ *Miscanthus condensatus* Hack. やキボウシノ *Pleiblastus kodzuma* Makino の草地で、風が弱い沢状のところにはタブノキ *Machilus thunbergii* Siebold & Zucc. やオオバヤシャブシ *Alnus sieboldiana* Matsum. の樹林が発達する。池之沢の火口原は風を受けることがなく、タブノキとホルトノキ *Elaeocarpus sylvestris* (Lour.) Poir. var. *ellipticus* (Thunb.) H.Hara が優先する森林が発達し、所々にスギ *Cryptomeria japonica* (Thunb. ex L.f.) D.Don の植林がある。樹林内にはハドノキ *Oreocnide pedunculata* (Shirai) Masam. やオオタニワタリ *Asplenium antiquum* Makino が目立つ。池之沢には集落はないが、平坦で溶岩の少ないところは畑地として開発されている。池之沢の南半分は恋ヶ奥と呼ばれ、溶岩が折り重なり、ホルトノキが優先する森林がよく残され、溶岩原の窪地には大杉と呼ばれるスギの大木が見られる。

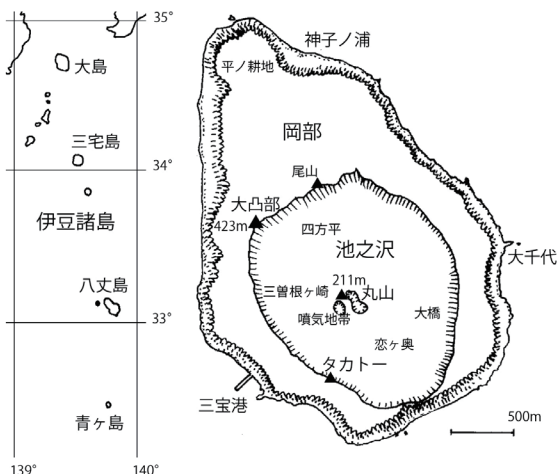


Fig. 1. Location and outline of Aogashima Island.

調査方法

現地での植物相調査は、2008 年 4 月 25 ~ 28 日、7 月 4 ~ 7 日、9 月 12 ~ 15 日、11 月 23 ~ 26 日、2010 年 7 月 18 ~ 21 日の 5 回行った。岡部周辺、大凸部 ~ 尾山、池之沢、丸山、恋ヶ奥、タカト、神子ノ浦、大千代、黒根、三宝港など、歩行できる場所はすべて回り、一部、池之沢の溶岩原は道からはずれて調査を行った。野生する植物について、出現した植物は最低 1 点は押し葉標本を作成した。明らかに栽培によるものは採集しなかった。作成した標本は神奈川県立生命の星・地球博物館 (KPM) に収め、同館の情報システムに登録し、データベース化した。また、2010 年 7 月の調査で池田博 博士が採集した標本は東京大学総合研究博物館または東京大学小石川植物園 (TI) に収められる予定であるが、これらについては標本の属性データを提供していただいた。植物リストの作成にあたっては、これらの標本データのほか、津山 (1938)・水島 (1955)・嶋根 (1980) の文献記録を引用した。このうち、今回の調査で確認できなかった種については、東京大学総合研究博物館または東京大学小石川植物園 (TI) に収められている津山 (1938) および水島 (1955) の証拠標本をチェックし、該当する標本を確認できたものについてはリスト内にその標本を引用した。

調査結果および考察

今回の調査では 571 シート、334 種の維管束植物標本を作成した。津山 (1938)、水島 (1955)、嶋根 (1980) に記録のない植物が 92 種あった。この中にはメリケンカルカヤ *Andropogon virginicus* L.、ギョウギシバ *Cynodon dactylon* (L.) Pers.、オニウシノケグサ *Festuca arundinacea* Schreb.、ホソムギ *Lolium perenne* L.、シマスズメノヒエ *Paspalum dilatatum* Poir.、タチスズメノヒエ *Paspalum urvillei* Steud.、シンテッポウユリ *Lilium* × *formologo* Hort.、オオニワゼキショウ *Sisyrinchium* sp.、ヒメヒオウギズイセン *Tritonia* × *crocosmaeflora* G.Nicholson.、コメツブツメクサ *Trifolium dubium* Sibth.、シロツメクサ *Trifolium repens* L.、コニシキソウ *Chamaesyce maculata* (L.) Small.、イリオモテニシキソウ *Chamaesyce thymifolia* (L.) Millsp.、メマツヨイグサ *Oenothera biennis* L.、コマツヨイグサ *Oenothera laciniata* Hill.、シチヘンゲ *Lantana camara* L.、タチイヌノフグリ *Veronica arvensis* L.、オオイヌノフグリ *Veronica persica* Poir.、ハルジオン *Erigeron philadelphicus* L.、ケナシヒメムカシヨモギ *Erigeron pusillus* Nutt.、チチコグサモドキ *Gnaphalium pensylvanicum* Willd.、ウラジロチチコグサ *Gnaphalium spicatum* Lam.、セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* L.、オニノゲシ *Sonchus asper* (L.) Hill などの帰化植物が多数含まれるが、カモジグサ *Elymus tsukushiensis* Honda var. *transiens* (Hack.) Osada.、ササガヤ *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz.、ヒメアシボソ *Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus var. *willdenowianum* (Nees) Osada.、スズメノヒエ *Paspalum thunbergii* Kunth ex Steud.、チカラシバ *Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng.、ヒエガエリ *Polypogon fugax* Nees ex Steud.、マスクサ *Carex gibba* Wahlenb.、ヒメクグ *Kyllinga brevifolia* Rottb. var. *leiolepis* (Franch. & Sav.) H.Hara.、クサイ

Juncus tenuis Willd., ニガカシウ *Dioscorea bulbifera* L., ミゾソバ *Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross, ヒナタイノコヅチ *Achyranthes bidentata* Blume var. *tomentosa* (Honda) H.Hara, タネツケバナ *Cardamine flexuosa* With., ミチバタガラシ *Rorippa dubia* H.Hara, イヌガラシ *Rorippa indica* (L.) Hiern, ツルマンネングサ *Sedum sarmentosum* Bunge, ヤブマメ *Amphicarpaea edgeworthii* Benth. var. *japonica* Oliv., ムシクサ *Veronica peregrina* L., キツネノマゴ *Justicia procumbens* L. var. *leucantha* Honda form. *japonica* (Thunb.) H.Hara, キウウリグサ *Trigonotis peduncularis* (Trevir.) Benth. ex Hemsl., アキノノゲシ *Lactuca indica* L. などの人里植物の増加も目立った。青ヶ島は 1785 年の噴火で被害を受け、生き残った島民もすべて八丈島に避難した。その後、1817 年に 20 名の島民が帰り、噴火からおおよそ 50 年後の 1834 年に残りの島民 202 名が帰島したと伝えられている (水島, 1955; 東京都教育委員会編, 1960)。畑地や路傍の雑草などの人里植物は 1834 年以後に人の移動に伴って島に再度持ち込まれ、現在でもさまざまな機会に八丈島より持ち込まれつつあると考えられる。

人里植物以外の在来種ではナンゴクホウビシダ *Asplenium cataractarum* Rosenst., ハチジョウツレサギ *Platanthera okuboi* Makino, ハマツメクサ *Sagina maxima* A.Gray, ヒメハギ *Polygala japonica* Houtt., ナタオレノキ *Osmanthus insularis* Koidz., ナンバンギセル *Aeginetia indica* L. が追加された。また、シダ植物で追加された種が少なかったのに対して、イネ科植物が 23 種、カヤツリグサ科植物が 8 種追加された。これは、島を調査した調査者の数が少なく、シダ植物の得意な調査者がいたのに対し、イネ科やカヤツリグサ科など、いわゆる細ものの得意な調査者が来島する機会がなかったためと思われる。

一方、津山 (1938)、水島 (1955)、嶋根 (1980) に記録があり、発見できなかったものは 45 種あり、アマクサシダ *Pteris dispar* Kunze, ゲジゲジシダ *Thelypteris decursivipinnata* (H.C.Hall) Ching, クリハラシ *Neocheiropteris ensata* (Thunb.) Ching, エビネ *Calanthe discolor* Lidl., ニラバラン *Microtis unifolia* (G.Forst.) Rchb.f., ママコノシリヌグイ *Persicaria senticosa* (Meins.) H.Gross, スイバ *Rumex acetosa* L., イヌビユ *Amaranthus blitum* L., コジキイチゴ *Rubus sumatranus* Miq., ハマナタマメ *Canavalia lineata* (Thunb.) DC., ミズタマソウ *Circaea molis* Siebold & Zucc., コケリンドウ *Gentiana squarrosa* Ledeb., クルマバナ *Clinopodium chinensis* (Benth.) Kuntze var. *parviflorum* (Kudo) H.Hara, ハシカグサ *Neanotis hirsuta* (L.f.) W.H.Lewis, キバナガンクピソウ *Carpesium divaricatum* Siebold & Zucc., ヤブタバコ *Carpesium abrotanoides* L., アレチノギク *Conyza bonariensis* (L.) Cronquist, コメナモミ *Sigesbeckia glabrescens* (Makino) Makino, コオニタビラコ *Lapsana apogonoides* Maxim., オオジシバリ *Ixeris debilis* (Thunb.) A.Gray などがある。特にゲジゲジシダ、スイバ、ミズタマソウ、コケリンドウ、ヤブタバコは水島 (1955) や嶋根 (1980) に産量が「普通」または「稀でない」とあり、急速に個体数が減少した可能性がある。

特筆すべき植物としては、シダ植物では池之沢丸山の地熱地で環境省レッドリストの絶滅危惧 I B 類のサクラ



Fig. 2. *Lactuca raddeana* var. *aogashimensis* (ヤマアキノノゲシ). Aogashima Island, Ohchiyo, alt. 200 m (T. Katsuyama, H. Kato & H. Ikeda, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148339).

ジマハナヤスリ *Ophioglossum kawamurae* Tagawa と同 II 類のチャボハナヤスリ *Ophioglossum parvum* Nishida & Kurita の 2 種の絶滅危惧植物を再確認した。両種とも生育地は狭いが、100 個体ほどが確認できた。

また、青ヶ島産の標本に基づいて記載されたヤマアキノノゲシ *Lactuca aogashimensis* Kitam. を再確認することができた (Fig. 2)。ヤマアキノノゲシは Kitamura (1942) の原記載中で、ヤマニガナ *L. raddeana* Maxim. var. *elata* (Hermsl.) Kitam. とアキノノゲシ *L. indica* L. の雑種とされたが、ヤマニガナが島嶼で分化したものと考え、チョウセンヤマニガナ *L. raddeana* Maxim. var. *raddeana* の変種 *L. raddeana* Maxim. var. *aogashimensis* (Kitam.) Katsuy. とした。

その他、各種ごとのコメントはリスト中の該当種のところで記述した。

青ヶ島の維管束植物リスト

科の配列はシダ植物は岩槻 (1992) に、種子植物は Melchior (1964) に従った。各分類群の記述は、和名、学名、生育状況や分類などのコメント、標本、文献の順で記した。和名の頭には、今回の調査での記録、文献記録を記号で示した。

◎: 今回の調査で標本を採集したもの a double circle indicates the species recorded in this survey. ●: 今回の調査ではじめて採集されたもの a solid circle indicates the species newly collected in this survey. ○: 文献記録にあるが確認できなかったもの a open circle indicates the species lacking

confirmation though recorded in the previous study.

文献記録の省略 abbreviations of the reference are follows. T : 津山 Tsuyama (1938, 1940) M: 水島 Mizushima (1955) S: 嶋根 Simane (1980)

シダ植物 PTERIDOPHYTA
マツバラ科 PSILOTAACEAE

◎マツバラ *Psilotum nudum* (L.) Beauv.

池之沢の樹林内溶岩上や樹幹基部などに多い。

標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 樹林内 根株に着生(勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131941); 同(勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148330); 同(池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071804, 18 Jul. 2010, TI); 池之沢四方平野球場入口 alt. 100 m, 石積上(勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133611). 文献: M S.

ヒカゲノカズラ科 LYCOPODIACEAE

◎ミズスギ *Lycopodium cernuum* L.

池之沢地熱地帯の噴気口周辺に多い。

標本: 池之沢丸山登り口 alt. 150 m, 地熱地帯(勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131937 & KPM-NA0132258). 文献: T M S.

トクサ科 EQUISETACEAE

◎スギナ *Equisetum arvense* L.

岡部周辺の路傍草地に稀。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍(勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131973). 文献: S.

ハナヤスリ科 OPHIOGLOSSACEAE

◎シチトウハナワラビ *Botrychium atrovirens* (Sahashi) K.Iwats.

池之沢の樹林内に少ない。伊豆諸島の固有種。水島(1955)のオオハナワラビの記録は本種と思われる。

標本: 池之沢(小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135966 & KPM-NA0135967). 文献: S.

◎フユノハナワラビ *Botrychium ternatum* (Thunb.) Sw. var. *ternatum*

池之沢の樹林内に少ない。

標本: 池之沢丸山 alt. 200 m, 路傍草地(小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135658). 文献: M S.

◎サクラジマハナヤスリ *Ophioglossum kawamurae* Tagawa
池之沢丸山の地熱地帯の裸地やコケ群落中に生える。地熱地の麓と斜面上端の2群を確認した。高さ2~3cmときわめて繊細で、裸葉を欠くため発見しにくい。また、乾燥すると消えてしまうため、条件によっては確認できないことがある。水島(1955)が「コヒロハナヤスリ?」の項で丸山の噴気孔周辺に生じる小型のハナヤスリ類の中にサクラジマハナヤスリに似た裸葉部を欠く個体群があることを報告し、後に Sahashi (1980) が孢子の形態の観察から本種と同定した。

標本: 池之沢(小久保恭子・岡武利・佐橋紀男, 19 Jul. 2003, KPM-NA0131812); 池之沢丸山 alt. 130 m., 裸地(勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-

NA0148321). 文献: M (コヒロハナヤスリ?として) S.
◎チャボハナヤスリ *Ophioglossum parvum* Nishida & Kurita
池之沢丸山の地熱地帯に生え、サクラジマハナヤスリと混生する。サクラジマハナヤスリよりもやや大きく、裸葉を伴うために発見しやすく、個体数もやや多い。乾燥すると萎れてしまうため、条件によっては確認できないことがある。水島(1955)が「コヒロハナヤスリ?」の項で報告したもの的一部で、Nishida & Kurita (1980)により新種記載された。同地にはチャボハナヤスリよりも裸葉や実葉がやや大きく、数本が叢生して生える型が混生する。岩槻(1992)に掲載されているチャボハナヤスリの写真はこの型である。また、嶋根(1980)が報告したコヒロハナヤスリ *O. petiolatum* Hook. やハマハナヤスリ *O. thermale* Kom. もこの型と思われる。これについては今後の研究課題である。

標本: 池之沢(小久保恭子・岡武利・佐橋紀男, 19 Jul. 2003, KPM-NA0131813); 池之沢丸山 alt. 130 m., 裸地(勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148322 & KPM-NA0148323). 文献: M (コヒロハナヤスリ?として) S.

リュウビンタイ科 MARATTIACEAE

◎リュウビンタイ *Angiopteris lygodifolia* Rosenst.

嶋根(1980)は「池之沢の溶岩原中の1窪地に5株が生育する」と記しているが、今回の調査では確認できなかった。2003年に孢子から発芽したと思われる幼株も確認されている(岡, 私信)。

文献: S.

ウラジロ科 GLEICHENIACEAE

◎コシダ *Dicranopteris linearis* (Burm.f.) Underw.

池之沢丸山の地熱地帯周辺部に群生するのを確認したのみ。標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯林縁(勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132455). 文献: S.

フサシダ科 SCHIZAECEAE

◎カニクサ *Lygodium japonicum* (Thunb.) Sw.

池之沢の地熱地帯の噴気口周辺のもの著しく小型化しているが、噴気口から離れるにしたがい、普通の形態に変化する。

標本: 池之沢丸山 alt. 140 m, 地熱地帯の裸地(勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132190); 同(勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148327); 同(池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071832, 18 Jul. 2010, TI). 文献: M S.

コケシノブ科 HYMENOPHYLLACEAE

◎ウチワゴケ *Crepidomanes minutum* (Blume) K.Iwats.

池之沢恋ヶ奥の樹林内の樹幹にやや稀。

標本: 池之沢恋ヶ奥 alt. 90 m, 溶岩地帯(勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133582); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071910, 19 Jul. 2010, TI). 文献: M S.

◎イズハイホラゴケ *Vandenboschia orientalis* (C.Chr.) Ching
池之沢恋ヶ奥の樹林内溶岩上に多い。イズハイホラゴ

ケはハイホラゴケ *V. kalamocarpa* (Hayata) Ebihara とオオハイホラゴケ *V. birmanica* (Bedd.) Ching の交雑起源の4倍体で、両者の中間的な形態のもの (Ebihara *et al.*, 2009)。青ヶ島でハイホラゴケとされてきたものは本種と考えられる。青ヶ島からはアイハイホラゴケ (オオハイホラゴケ×ハイホラゴケ×ヒメハイホラゴケ) *V. birmanica* (Bedd.) Ching × *V. kalamocarpa* (Hayata) Ebihara × *V. nipponica* (Nakai) Ebihara が報告されている (Ebihara *et al.*, 2009)。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内岩場 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131781 & KPM-NA0132221); 同 (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135645 & KPM-NA0135646). 文献: M (ハイホラゴケ) S (ハイホラゴケ)。

コバノイシカグマ科 DENNSTAEDTIACEAE

◎イシカグマ *Microlepia strigosa* (Thunb.) Presl

各所の樹林内に普通。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132109). 文献: T M S.

ホングウシダ科 LINDSAEACEAE

◎ハマホラシノブ *Sphenomeris biflora* (Kaulf.) Tagawa

海岸崖地に多い。

標本: 大千代 alt. 150 m, 海岸岩場 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132179 & KPM-NA0132180); 池之沢恋ヶ奥 alt. 90 m, 道路法面岩場 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133581); 岡部神子浦 (小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135959 & KPM-NA0135960). 文献: T M S.

◎ホラシノブ *Sphenomeris chinensis* (L.) Maxon

各所の崖地に多い。ハマホラシノブとの中間的なもの(アイホラシノブ)も見られる(大千代 alt. 150 m, 小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135657)。

標本: 池之沢ヤリノ坂下 alt. 100 m, 崖地 (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132046); 岡部大凸部 alt. 400 m (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135642 & KPM-NA0135643); 岡部休戸郷 alt. 230 m, 道路法面 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133596); 岡部神子の浦 (小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135961). 文献: M S.

ツルシダ科 OLEANDRACEAE

◎タマシダ *Nephrolepis cordifolia* (L.) Presl

各所に普通。

標本: 池之沢~タカトウ alt. 200 m, 常緑広葉樹林内路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131798). 文献: T M S.

ホウライシダ科 PARKERIACEAE

◎ホウライシダ *Adiantum capillus-veneris* L.

池之沢大橋水源の水の滴る岩壁にびっしりと生えている。かつては外輪山の南東海側にもう1ヶ所生育地があったという(嶋根, 1980)が崩落で失われた模様。

標本: 池之沢大橋水源 alt. 150 m, 流水岩場 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131774 & KPM-

NA0132228). 文献: M S.

◎タチシノブ *Onychium japonicum* (Thunb.) Kunze

路傍の崖地や石垣などに普通。

標本: 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍草地 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133588). 文献: T M S.

イノモトソウ科 PTERIDACEAE

◎アマクサシダ *Pteris dispar* Kunze

嶋根 (1980) は「池之沢丸山の東斜面に少数が点在」と記録したが、今回の調査では確認できなかった。

文献: S.

◎ハチジョウシダ *Pteris fauriei* Hieron.

各所に普通。

標本: 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132208); 大千代 alt. 200 m, 海岸風衝低木林 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132184). 文献: T M S.

◎ナチシダ *Pteris wallichiana* Ag.

各所に普通。

標本: 岡部東台所神社 alt. 350 m, 草地 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132158). 文献: T M S.

チャセンシダ科 ASPLENIACEAE

◎オオタニワタリ *Asplenium antiquum* Makino

各所に普通。池之沢の溶岩上には特に多い。伊豆諸島では八丈島にも産するが、青ヶ島では特に個体数が多く、池之沢の溶岩地帯では独特な景観を作っている。

標本: 岡部大凸部 alt. 400 m, 常緑広葉樹林内岩上 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132160); 池之沢丸山 alt. 200 m, 樹林内岩上 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133565). 文献: M (タニワタリ) S.

●ナンゴクホウビシダ *Asplenium cataractarum* Rosenst.

休戸橋下流の涸れた沢で見出したのみ。稀なものと思われる。

標本: 岡部休戸郷 (小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135962).

◎ヌリトラノオ *Asplenium normale* D. Don var. *normale*

池之沢に稀。恋ヶ奥の大杉の根元に着生するものを確認したのみ。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135647). 文献: S.

◎コウザキシダ *Asplenium ritoense* Hayata

池之沢の溶岩地に多い。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内岩場 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131782, KPM-NA0131783, KPM-NA0132222 & KPM-NA0132223); 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071911, 19 Jul. 2010, TI). 文献: M.

◎クルマシダ *Asplenium wrightii* Eaton ex Hook.

池之沢に稀。恋ヶ奥大杉周辺で確認したのみ。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 溶岩地帯樹林内 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133544); 同 (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135648). 文献: S.

シシガシラ科 BLECHINACEAE

◎ハチジョウカグマ *Woodwardia orientalis* Sw. var. *formosana* Rosenst.

各所に多い。

標本：池之沢ヤリノ坂下 alt. 100 m, 崖地 (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132047); 岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 崖地 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132456). 文献: T M S.

オシダ科 DRYOPTERIDACEAE

◎ハチジョウカナワラビ *Arachniodes davalliiformis* (H.Christ) Nakaike

池之沢の溶岩地や丸山に多い。青ヶ島のカナワラビ類はすべて本種と思われ、水島 (1955) のホソバカナワラビ *A. aristata* (Forst.) Tindale、嶋根 (1980) のホソバカナワラビおよびコバナカナワラビ *A. sporadosora* (Kunze) Nakaike はすべてハチジョウカナワラビを記録したものと考えられる。伊豆諸島の固有種で八丈島と青ヶ島に分布する。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132211); 池之沢〜タカトウ alt. 150 m, タブ樹林内岩場に普通 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132082); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 溶岩地帯常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132446 & KPM-NA0132447; 同 (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135649, KPM-NA0135651 & KPM-NA0135652)).

◎リョウメンシダ *Arachniodes standishii* (Moore) Ohwi

湿った樹林内に見られ、大凸部やヤリの坂には特に多い。

標本：岡部大凸部 alt. 380 m, 常緑広葉樹林内路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132480). 文献: M S.

●ナガバヤブソテツ *Cyrtomium devexiscapulae* (Koidz.) Ching

池之沢にやや普通。オニヤブソテツと混同されて未記録だったと思われる。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 樹林内 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133543); 池之沢 (小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135953 & KPM-NA0135954).

◎オニヤブソテツ *Cyrtomium falcatum* (L.f.) Presl subsp. *falcatum*

各所に普通。

標本：岡部神子の浦 alt. 20 m, 海岸岩場 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131956); 岡部神子の浦 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132246); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135650); タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072004, 20 Jul. 2010, TI). 文献: T M S.

●ヒメオニヤブソテツ *Cyrtomium falcatum* (L.f.) Presl subsp. *littorale* S.Matsumoto

海岸岩場に稀。

標本：岡部神子の浦 alt. 20 m, 海岸岩場 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131955)

◎ハチジョウベニシダ *Dryopteris caudipinna* Nakai

各所に普通。以前は伊豆諸島の準固有種とされていたが、伊豆諸島のほか茨城県、千葉県、愛知県、鳥取県、島根県、山口県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県に分布

していることが明らかにされた (Yamamoto et al., 2010)。

標本：池之沢中之島 alt. 100 m, タブノキ・ホルトノキ樹林内に普通 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132063); 池之沢 (小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135644); 池之沢南恋ヶ奥 alt. 90 m (小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135653 & KPM-NA0135654); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071916, 19 Jul. 2010, TI); 岡部休戸郷 (小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135956 & KPM-NA0135958). 文献: T M S.

◎オオイタチシダ *Dryopteris pacifica* (Nakai) Tagawa

各所に普通。水島 (1955) や嶋根 (1980) はヤマイタチシダ *D. bissetiana* (Baker) C.Chr. やナンカイイタチシダ *D. varia* (L.) O. Kuntze を記録し、嶋根 (1980) はそれぞれを「岡部・外輪山に普通」とした。一方、オオイタチシダは記録されていない。本調査では島内各所でオオイタチシダを普通に見かけたが、ヤマイタチシダおよびナンカイイタチシダを見ることはなかった。これらを見ると、青ヶ島のイタチシダ類はすべてオオイタチシダであると考えられる。

標本：池之沢〜タカトウ alt. 200 m, タブ優先の樹林内岩場にやや普通 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132079); タカトウ alt. 240 m, 風衝地 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148343); 池之沢丸山東麓 alt. 100 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132453); 池之沢 (小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135952); 同 (小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135968). 文献: T.

◎アスカイノデ *Polystichum fibrilloso-paleaceum* (Kodama) Tagawa var. *fibrilloso-paleaceum*

各所に普通。

標本：池之沢 (小久保恭子, 19 Jul. 2003 KPM-NA0135636); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132210); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071909, 19 Jul. 2010, TI); 岡部大凸部 alt. 400 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132161). 文献: T M S.

ヒメシダ科 THELYPTERIDACEAE

◎ミゾシダ *Stegnogramma pozoi* (Lagasca) K.Iwats. subsp. *mollissima* (Fischer ex Kunze) K.Iwats. form. *mollissima*

各所に普通。水島 (1955) は津山 (1938) のケホシダ *Thelypteris parasitica* (L.) Tardieu の記録をミゾシダの誤認とした。嶋根 (1980) もケホシダは未見と報告しており、本稿でも水島 (1955) の見解を採用した。

標本：岡部神子の浦歩道 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132239); 岡部大凸部 alt. 360 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132165). 文献: M S.

◎ホシダ *Thelypteris acuminata* (Houtt.) Morton var. *acuminata*

路傍の崖地や石垣などに普通。

標本：黒根下り道 alt. 150 m, 路傍草地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132101). 文献: T M S.

○ゲジゲジシダ *Thelypteris decursivipinnata* (H.C.Hall) Ching

水島 (1955) は岩場や石垣に普通、嶋根 (1980) は岡部

の路傍に普通と報告している。また、岡（私信）は2003年の調査で集落付近で小型の4倍体を記録している。今回の調査では岡部集落の石垣にはホンシダやナチシケシダの小型のものが多く見られたが、ゲジゲジシダは見出すことができなかった。見逃した可能性が高いが、以前ほど個体数は多くはないと思われる。

標本：青ヶ島、石垣 common（水島正美, 4 Nov. 1954, TI）
文献：M（普通）S（岡部、路傍に普通）。

◎アラゲヒメワラビ *Thelypteris torresiana* (Gaud.) Alston var. *torresiana*

池之沢の地熱地帯に少ない。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 地熱地帯（勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132439）；同（小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135655）。文献：TMS。

イワデングダ科 WOODSIACEAE

◎ナチシケシダ *Deparia petersenii* (Kunze) M.Kato

各所に普通。崖地や石垣にはコシケシダ型が見られる。水島（1955）や嶋根（1980）のシケシダ *D. japonica* (Thunb.) M.Kato はナチシケシダを記録したもので、津山（1938）、水島（1955）、嶋根（1980）のホソバシケシダ *D. conilii* (Franch. & Sav.) M.Kato の記録もナチシケシダの一型（コシケシダの型）を記録したものである。青ヶ島のシケシダ類はすべてナチシケシダと判断した。嶋根（1980）は岡部の石垣でノコギリヘラシダ *Deparia ×tomitaroana* (Masam.) R.Sano を記録している。これはナチシケシダとヘラシダの雑種と推定されるもので、岡部の石垣には両種が混生し、この組み合わせの雑種が生じる可能性は高い。

標本：岡部大凸部 alt. 400 m, 常緑広葉樹林内（勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132159）；同（小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135639, KPM-NA0135640 & KPM-NA0135641）；黒根 alt. 150 m（小久保恭子, 23 Nov. 2008, KPM-NA0135637 & KPM-NA0135638）；岡部休戸郷休戸橋下流の沢床 alt. 230 m, 岩上（勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133604）；同（小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135963, KPM-NA0135964 & KPM-NA0135965）。

◎ヘラシダ *Deparia lancea* (Thunb.) Fraser-Jenk.

各所の崖地や石垣に普通。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m（支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132192）；岡部大凸部登山道 alt. 380 m, 風衝低木林内の湿った岩（勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131968）。文献：MS。

◎シロヤマシダ *Diplazium hachijoense* Nakai

休戸郷名主屋敷跡、ヤリの坂、丸山の小穴の底の湿った樹林内に群生地がある。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m（支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132194）；同 alt. 260 m, 草地（勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132117）；同（小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0135957）；池之沢丸山小穴 alt. 150 m, スギ林内群生（勝山輝男, 6 Jul. 2008, PM-NA0132069）；同（小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0135656）；ヤリの坂 alt. 130-300 m（池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072011, 20 Jul. 2010, TI）。文献：MS。

◎ノコギリシダ *Diplazium wichurae* (Mett.) Diels var. *wichurae*
各所に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 360 m, 常緑広葉樹林内（勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132166）；池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m（池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071914, 19 Jul. 2010, TI）。文献：MS。

ウラボシ科 POLYPODIACEAE

◎ミツデウラボシ *Crypsinus hastatus* (Thunb.) Copel.

岡部の道路法面に少ない。

標本：岡部中原 alt. 280 m, 道路法面崖（勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132436）。文献：S。

◎マメヅタ *Lemmaphyllum microphyllum* C.Presl

各所の溶岩、石垣、樹幹などに着生し、ごく普通に見られる。葉身が細長く、ヒメマメヅタ *L. nobukoanum* (Makino) Ching と思われる型もある。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m（支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132255）；池之沢南恋ヶ奥 alt. 90 m, 溶岩地帯（勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133583）；大千代 alt. ca. 200 m（池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071828, 18 Jul. 2010, TI）。文献：TMS。

◎ノキシノブ *Lepisorus thunbergianus* (Kaulf.) Ching

各所の溶岩、石垣、樹幹などに着生し、普通に見られる。標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m（支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132254）；池之沢丸山 alt. 160 m, タブ樹幹着生（勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132068）；同（池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071817, 18 Jul. 2010, TI）。文献：TMS。

◎ヌカボシクリハラン *Microsorium buergerianum* (Miq.) Ching

池之沢の溶岩地に多い。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内岩場（勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131780 & KPM-NA0132227）；池之沢金土ヶ平 alt. 100 m, 溶岩地帯樹林内（勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133610）。文献：MS。

○クリハラン *Neocheiropteris ensata* (Thunb.) Ching.

嶋根（1980）は「内輪山東側の溶岩原に1群落のみ」と記録したが、溶岩地帯のありそうな場所を探したが見つからなかった。

文献：S。

◎ヒトツバ *Pyrrhosia lingua* (Thunb.) Farw.

池之沢の島庁跡地のオオシマザクラに着生しているのみ。標本：池之沢島庁跡地 alt. 100 m,（勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132061）。文献：S。

種子植物 SPERMATOPHYTA

マキ科 PODOCARPACEAE

◎イヌマキ *Podocarpus macrophyllus* (Thunb.) D.Don var. *macrophyllus*

池之沢にやや普通。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 樹林内（勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133542）。文献：MS。

マツ科 PINACEAE

●アカマツ *Pinus densiflora* Siebold & Zucc.

植栽。

標本：池之沢丸山 alt. 200 m (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132409).

◎クロマツ *Pinus thunbergii* Parl.

植栽。

標本：池之沢丸山 alt. 200 m (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132410). 文献：MS.

スギ科 TAXODIACEAE

◎スギ *Cryptomeria japonica* (Thunb. ex L.f.) D. Don var. *japonica*

池之沢に植林地がある。南恋ヶ奥の溶岩地には直径 1 m 以上の大杉が何本かある。大杉のある場所は溶岩地の窪地で、割れ目から冷気が出ているのか、周辺に比べて涼しく感じる。島の植生は 1785 年(天明 5 年)の火山噴火により壊滅的に破壊され、現在の植生はその後に回復したものと考えられている(水島, 1955)。すると、大杉は 1817 年に 20 名の島民が島に帰った後に植栽されたことになり、樹齢はたかだか 200 年程度になる。これについては、年輪を調べてみる必要がある。

標本：池之沢南恋ヶ奥 alt. 90 m, 溶岩地帯(勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133585). 文献：T (補遺) MS.

ヒノキ科 CUPRESSACEAE

◎ヒノキ *Chamaecyparis obtuse* (Siebold & Zucc.) Endl.

池之沢に植林地があるが、スギに比べて少なく、巨木もない。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Jul. 2010, KPM-NA0148338) 文献：T (補遺) MS (池之沢、植栽)。

イネ科 POACEAE (GRAMINEAE)

●ヌカボ *Agrostis clavata* Trin. ex Spreng. subsp. *matsumurae* (Hack. ex Honda) Tateoka

各所の路傍に普通。

標本：池之沢大橋 alt. 90 m, 路傍草地(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131773).

◎コヌカグサ *Agrostis gigantea* Roth.

帰化。各所の路傍に普通。

標本：岡部尾山展望公園 alt. 390 m, 草地(勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132151). 文献：M.

●メリケンカルカヤ *Andropogon virginicus* L.

帰化。各所の路傍に多い。最近、急増していると推定される。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡入口 alt. 270 m, 路傍(勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132427).

○スズメノテッポウ(広義) *Alopecurus aequalis* Sobol.

嶋根(1980)は「岡部、路傍に少ない」と記録しているが、今回の調査では発見できなかった。

文献：S.

◎コブナグサ *Arthraxon hispidus* (Thunb.) Makino

各所の林縁や路傍に普通。芒の長さ、葉の毛の有無、小穂の色などに変異があり、いくつかの品種が提案されて

いる。青ヶ島産のコブナグサは小穂が淡色で、芒が長いもので、小穂の色に着目すればシロコブナグサ form. *hispidus* (Thunb.) Ohwi、長い芒がある点ではホンコブナグサ(ノゲコブナグサ) form. *japonicus* (Regel) Ohwi となる。標本：岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍草地(勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133560). 文献：T (補遺、シロコブナグサ) M (ノゲコブナグサ、ホンコブナグサ) S.

●ヤマカモジグサ *Brachypodium sylvaticum* (Huds.) P. Beauv. var. *miserum* (Thunb.) Koidz.

大凸部の山頂付近で採集された。

標本：岡部大凸部 alt. 423 m, 山頂草地(勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132162).

◎ヒメコバンソウ *Briza minor* L.

帰化。各所の路傍に普通。

標本：岡部休戸郷 alt. 270 m, 路傍(勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131975); 池之沢青宝トンネル入口～恋ヶ奥入口 alt. 100 m, 資材置き場の半裸地(普通)(勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132052). 文献：S.

●イヌムギ *Bromus unioloides* Humb.

帰化。路傍に稀。

標本：岡部休戸郷 alt. 270 m, 路傍(勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131976).

●ギョウギシバ *Cynodon dactylon* (L.) Pers. var. *dactylon*

帰化。各所の路傍に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 423 m, 山頂草地(勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132172).

◎メヒシバ *Digitaria ciliaris* (Retz.) Koeler

各所の路傍や畑地に普通。

標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131759); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132213); 岡部休戸郷清受寺 alt. 270 m, 境内の裸地(勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132429). 文献：TMS.

◎アキメヒシバ *Digitaria violascens* Link

各所の路傍や畑地に普通。地熱地帯にはカニクサと同様に著しく小型化した個体が見られる。

標本：池之沢丸山登り口 alt. 150 m, 地熱地帯(勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131936 & KPM-NA0132256). 文献：MS.

●ヒメイヌビエ *Echinochloa crus-galli* (L.) P. Beauv. var. *praticola* Ohwi

各所に路傍にやや普通。

標本：池之沢金土ヶ平 alt. 96 m, 路傍(勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132449).

◎オヒシバ *Eleusine indica* (L.) Gaertn.

各所の路傍に普通。

標本：池之沢 alt. 100 m, 路傍(普通)(勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132113). 文献：MS.

●カモジグサ *Elymus tsukushiensis* Honda var. *transiens* (Hack.) Osada

各所の路傍や草地に普通。

標本：大千代分岐 alt. 300 m, 路傍(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131748).

●シナダレスズメガヤ *Eragrostis curvula* (Schrad.) Nees

帰化。路傍に少ない。

標本：平成流し坂 alt. 250 m, 路傍 (少) (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132114)。

●ニワホコリ *Eragrostis multicaulis* Steud.

帰化。各所の裸地にやや少ない。

標本：池之沢青宝トンネル入口～恋ヶ奥入口 alt. 100 m, 資材置き場の裸地 (稀) (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132054)。

●オニウシノケグサ *Festuca arundinacea* Schreb.

帰化。各所の路傍や草地に普通。嶋根(1980)に「加藤氏」としてヒロハウシノケグサ *F. pratensis* Huds. が記録されている。

標本：池之沢金土ヶ平 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131793) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m, 風衝草地 (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132199)。

◎フシゲチガヤ *Imperata cylindrica* (L.) P.Beauv. var. *koenigii* (Retz.) Pilg.

各所の路傍や草地に普通。

標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131754)。文献：MS。

●ホソムギ *Lolium perenne* L.

帰化。各所の路傍に普通。

標本：岡部西郷 alt. 220 m, 路傍 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132070)。

●ササガヤ *Microstegium japonicum* (Miq.) Koidz. var. *japonicum*

各所の路傍や草地にやや普通。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍草地 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133587)。

◎アシボソ *Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus var. *vimineum*

各所の路傍や草地にやや普通。

標本：岡部西郷 alt. 220 m, 路傍 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133591)。文献：MS。

●ヒメアシボソ *Microstegium vimineum* (Trin.) A.Camus var. *willdenowianum* (Nees) Osada

各所の路傍や草地にやや普通。

標本：岡部西郷 alt. 220 m, 路傍 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133592)。

◎ハチジョウススキ (アオガシマススキ) *Miscanthus condensatus* Hack.

各所に普通。特に外輪山の海側斜面に群落が多い。牛の飼料として栽培もされている。地熱地帯周辺には全体に小型で葉が細いものがあり、これをアオガシマススキというが、葉は質厚く、平滑でハチジョウススキの貧弱なものと同みなせる。アオガシマススキ *M. miser* Nakai ex Honda in Bot. Mag. Tokyo 52: 517 (1938) は三宅島 (2点) と青ヶ島の標本を Syntypes として記載されたもので、水島 (1955) や Mizushima (1956) はススキ *M. sinensis* Andersson の異名とした。そのため嶋根 (1980) にもススキが記録されることになった。その後、Lee (1964) は苞穎の脈や葉

の解剖学的な形質がススキよりもハチジョウススキに近い。そのため、その変種 *M. condensatus* Hack. var. *miser* (Nakai ex Honda) Y.Lee in J. Jpn. Bot. 39: 293 (1964) とした。ハチジョウススキとアオガシマススキの間は連続してしまい、変種としての区別も必要ないと考えられる。なお、青ヶ島には現在もススキは侵入していないと思われる。

標本：青ヶ島 (松崎直枝, 16 Jun. 1920, syntype of *M. miser* Nakai ex Honda, TI) ; 岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132486) ; 池之沢丸山, 地熱地帯 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148328)。文献：TMS。

◎エダウチチヂミザサ *Oplismenus compositus* (L.) P.Beauv.

池之沢や大凸部などの林縁に多い。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132485)。文献：M (普通) S (池之沢に少ない)

◎ケチヂミザサ *Oplismenus undulatifolius* (Ard.) P.Beauv. var. *undulatifolius*

各所の樹林内や林縁に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0133549)。文献：MS (チヂミザサ *O. undulatifolius*)

●コチヂミザサ *Oplismenus undulatifolius* (Ard.) P.Beauv. var. *japonicus* (Steud.) Koidz.

各所の樹林内や林縁に普通。

標本：池之沢丸山 alt. 180 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132412)。

●シマスズメノヒエ *Paspalum dilatatum* Poir.

帰化。各所の路傍に普通。

標本：池之沢 alt. 100 m, 路傍 (普通) (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132111)。

●アメリカスズメノヒエ *Paspalum notatum* Flugge

植栽。青宝トンネル入口の斜面緑化に使われたものが残っている。

標本：池之沢青宝トンネル入口 alt. 100 m (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132088)。

◎スズメノコビエ *Paspalum orbiculare* Forst.

池之沢の路傍や草地に多い。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, 路傍草地 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132090) ; 池之沢丸山 alt. 210 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132411)。文献：MS。

●スズメノヒエ *Paspalum thunbergii* Kunth ex Steud.

岡部周辺の路傍や草地にやや普通。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132459)。

●タチスズメノヒエ *Paspalum urvillei* Steud.

帰化。岡部や池之沢などの路傍や草地にやや普通。

標本：大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132176)。

●チカラシバ *Pennisetum alopecuroides* (L.) Spreng.

路傍や草地に少ない。

標本：岡部尾山 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132489)。

●ナピアグラス *Pennisetum purpureum* Schum.

帰化。池之沢で牧草として植栽されたものが野生化。

標本：池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍（勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133578）.

●ミゾイチゴツナギ *Poa acroleuca* Steud. var. *acroleuca*

各所の路傍に普通。

標本：大千代分岐 alt. 300 m, 路傍（勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131746）；池之沢 alt. 97 m（支倉千賀子・勝山輝男, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132236）.

◎スズメノカタビラ *Poa annua* L. var. *annua*

各所の路傍に普通。

標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地（勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131758）. 文献：S.

◎オオイチゴツナギ *Poa nipponica* Koidz.

各所の路傍に普通。

標本：岡部村役場 alt. 270 m, 路傍（勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131799）. 文献：S.

●ヒエガエリ *Polypogon fugax* Nees ex Steud.

池之沢の路傍に少ない。

標本：池之沢金土ヶ平 alt. 100 m, 路傍（勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131794 & KPM-NA0132200）.

◎コツブキンエノコロ *Setaria pallide-fusca* (Schumach.) Stapf & C.E.Hubb.

各所の路傍や草地に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍（勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132484）. 文献：S.

○キンエノコロ *Setaria pumila* (Poir.) Roem. & Schult.

今回の調査ではコツブキンエノコロは岡部や外輪山に普通に見られたが、キンエノコロは見つからなかった。

標本：火口原 池之沢, 路傍（M. Kato & E. Miki 181, 2 Nov. 1977, TI）. 文献：M（路傍に普通）S（岡部、路傍に普通）.

◎ハマエノコロ *Setaria viridis* (L.) P.Beauv. var. *pachystachys* (Franch. & Sav.) Makino & Nemoto

各所の路傍にやや普通。津山（1938）や嶋根（1980）にエノコログサ *S. viridis* (L.) P.Beauv. var. *viridis* が記録されているが、これはハマエノコロを記録したものとする。

標本：大千代 alt. 150 m, 海岸砂礫地（勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132464）；池之沢～タカトウ alt. 250 m, 路傍（勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132434）. 文献：T M. S（ハマエノコロ）

●セイバンモロコシ *Sorghum halepense* (L.) Pers.

帰化または植栽。池之沢に稀。

標本：池之沢中之島 alt. 100 m, 畑地の縁の草地（稀）（勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132049）.

◎ネズミノオ *Sporobolus fertilis* (Steud.) Clayton var. *fertilis*

各所の路傍に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍（勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132483）. 文献：M S.

◎カニツリグサ（アオガシマカニツリ）*Trisetum bifidum* (Thunb.) Ohwi

池之沢や岡部の路傍や草地にやや稀。今回の調査で採集されたカニツリグサは護穎の先が深く2裂し、裂片は長さ2.5～3 mmに達する。このようなものをアオガシマカニツリ form. *biaristatum* (Nakai) M.Mizush. in Misc. Rep. Res. Inst. Natur. Resources (41-42): 80 (1956)—*T. bifidum*

(Thunb.) Ohwi var. *biaristatum* (Nakai) Honda, Nom. Pl. Jap. 433 & 520 (1939)—*T. biaristatus* Nakai in Bot. Mag. Tokyo 35: 150 (1921) といい、青ヶ島産の標本を Type として記載された。しかし、国内産のカニツリグサの護穎の先の切れ込みの深さは連続して変化しており、現在、品種ランクでもアオガシマカニツリが区別されることはない。また、野口（2004）はカニツリグサには、葉縁や基部の鞘に開出長毛のある牧野型と、葉縁に長毛が無く基部の鞘に下向きの微細な毛がある長田型に分けられ、古くから日本にあるのは前者で、後者は近年になって海外から入ったものであろうと推察している。今回の調査で青ヶ島から採集されたカニツリグサは牧野型であった。牧野型が古くから日本にあった型であるかどうかは議論があるが（木場, 2005）、青ヶ島に牧野型が生育していることは注目に値する。

標本：青ヶ島（松崎直枝, 16 Jun. 1920, Holotype of *T. biaristatus* Nakai, TI）；池之沢丸山 alt. 170 m, 路傍草地（勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131940 & KPM-NA0132261）. 文献：T（アオガシマカニツリ）M S.

◎シバ *Zoysia japonica* Steud.

各所にやや稀。池之沢丸山 alt. 180 m（勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131943）. 文献：S.

○コウライシバ *Zoysia pacifica* (Goudswaard) M.Hotta & Kuroki

植栽。今回の調査では見かけなかった。

文献：T（イトシバ *Z. tenuifolia* Trin.）M S（岡部、稀、植栽）.

タケ科 BAMBUSACEAE

○マダケ *Phyllostachis bambusoides* Siebold. & Zucc.

植栽。今回の調査では見かけなかった。

標本：青ヶ島, 栽培品（松崎直枝, 16 Jun. 1920, TI）. 文献：M S（岡部・池之沢）.

●モウソウチク *Phyllostachis pubescens* Mazel ex J.Houz.

植栽。

標本：岡部休戸郷 alt. 250 m（勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133599）.

○アズマネザサ *Pleioblastus chino* (Franch. & Sav.) Makino

水島（1955）、嶋根（1980）はハコネダケの和名で記録しているが、いずれの文献記録にもキボウシノがないので、その誤認かもしれない。

文献：T M（ハコネダケ）S（ハコネダケ、岡部・平の耕地に多い）

●キボウシノ *Pleioblastus kodzuma* Makino

各所に普通。外輪山の風衝地や岡部周辺に群落が多い。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 風衝地（勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132169）；岡部大凸部登り口 alt. 350 m（勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132475）；大千代 alt. 200 m, 海岸風衝地（勝山輝男, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133605, KPM-NA0133606, KPM-NA0133607 & KPM-NA0133608）.

◎ハチジョウスズダケ *Sasamorpha borealis* (Hack.) Nakai var. *viridescens* (Nakai) S.Suzuki

大凸部などの標高の高い部分に多い。スズダケの伊豆諸島固有変種であるが、スズダケと区別ができないとする説（Ohba & Akiyama, 2002）もある。スズダケに比べて、

葉の枚数が多い (5~8枚)。

標本: 休戸郷大里神社 alt. 340 m, 風衝低木林内 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132186); 岡部大凸部登り口 alt. 350 m (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132474). 文献: S.

●タケ科不明種

南恋ヶ奥に1ヶ所。人の入らない場所であるが、隣接してかんきつ類があり、かつてさまざまな植物を植栽した一角と考えられる。

標本: 池之沢南恋ヶ奥 alt. 90 m, ホルトノキ優先林内 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132105); 同 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133584).

カヤツリグサ科 CYPERACEAE

◎コゴメスゲ *Carex burunnea* Thunb.

各所の路傍や林縁に多い。

標本: 岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132487); 同 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133548 & KPM-NA0133552); 岡部尾山展望公園 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133558); 池之沢丸山 alt. 180 m, 路傍草地 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133569); 池之沢南恋ヶ奥 alt. 90 m, 樹林内 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133586). 文献: M.S.

◎シラスゲ *Carex doniana* Spreng.

各所の路傍や林縁にやや稀。

標本: 池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131764).. 文献: M.S.

●マスクサ *Carex gibba* Wahlenb.

各所の路傍にやや稀。

標本: 池之沢大橋 alt. 90 m, 路傍草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131779 & KPM-NA0132232).

●オキナワジュズスゲ *Carex ischnostachya* Steud. var. *fastigiata* T.Koyama

各所の樹林内路傍にやや稀。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131785 & KPM-NA0132220); 岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131972).

●ナキリスゲ *Carex lenta* D.Don var. *lenta*

池之沢丸山の樹林内に見られる。コゴメスゲに比べて路傍に出てくることは少ない。

標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132414); 同 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133570, KPM-NA0133573 & KPM-NA0133574).

●アオスゲ *Carex leucochlora* Bunge var. *leucochlora*

各所の路傍や草地にやや普通。

標本: 池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131755); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132217).

●ノゲヌカスゲ *Carex mitrata* Franch. var. *aristata* Ohwi

各所の路傍や明るい樹林内にやや普通。嶋根 (1980) はヤマオオイトスゲ *Carex clivorum* Ohwi を池之沢に記録しているが、青ヶ島の自生は考えられず、ノゲヌカスゲを誤認

した可能性が高い (勝山, 2010)。

標本: 池之沢大橋 alt. 90 m (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132229); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 150 m, 畑地内の路傍芝地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131925, KPM-NA0132218 & KPM-NA0132219); 池之沢丸山 alt. 165 m, 樹林内路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131938); 同 alt. 180 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132262); 岡部平ノ耕地 alt. 200 m, 風衝草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131964 & KPM-NA0132198).

◎ヒゲスゲ *Carex oahuensis* C.A.Mey. var. *robusta* Franch. & Sav.

海岸草地に多い。

標本: 三宝港 alt. 20 m, 海岸路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131760 & KPM-NA0131761); 岡部神子の浦 alt. 20 m, 海岸風衝草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131957). 文献: T.M.S.

◎オオシマカンスゲ *Carex oshimensis* Nakai

各所の樹林内や路傍に普通。伊豆諸島の固有種。

標本: 大千代分岐 alt. 300 m, 道路法面 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131749); 池之沢大橋水源 alt. 150 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131777); 岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131960); 同 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132248). 文献: T.M.S.

●コチャガヤツリ *Cyperus amuricus* Maxim. var. *japonica* Miq.

路傍や空地に稀。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 畑地 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132452).

◎イヌクグ (クグ) *Cyperus cyperoides* (L.) Kuntze

路傍草地に普通。

標本: 岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍草地 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132168); 池之沢青宝トンネル入口 alt. 100 m, 道路法面 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132407). 文献: T.M.S.

◎カヤツリグサ *Cyperus microiria* Steud.

路傍や空地に稀。

標本: 池之沢青宝トンネル入口~恋ヶ奥入口 alt. 100 m, 資材置き場の半裸地 (少) (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132053). 文献: T.M.S.

◎イガガヤツリ *Cyperus polystachyos* Rottb.

池之沢の地熱地に多い。

標本: 池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131753); 池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132201); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132212). 文献: T.M.S.

●ヒメミクリガヤツリ *Cyperus retrorsus* Chapm.

帰化。勝山 (2009) により日本新産帰化植物として報告された。青宝トンネル入口の法面緑化種子に混入して持ち込まれたと推定される。

標本: 池之沢青宝トンネル入口 alt. 100 m, 道路法面 (勝

山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132085 & KPM-NA0132086) ; 同 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132408).

◎ハマスゲ *Cyperus rotundus* L. var. *rotundus*

路傍や空地にやや稀。

標本: 池之沢四方平 alt. 100 m, 裸地 (グランド) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132096). 文献: TMS.

◎クグテンツキ *Fimbristylis dichotoma* (L.) Vahl subsp. *dichotoma* var. *floribunda* (Miq.) T.Koyama

海岸や池之沢の地熱地に多い。

標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131945 & KPM-NA0132202) ; 池之沢四方平 alt. 100 m, 裸地 (グランド) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132095). 文献: T (オテンツキ *F. diphylla* およびシオカゼテンツキ *F. wightiana* として記録) MS.

◎イソヤマテンツキ *Fimbristylis ferruginea* (L.) Vahl var. *sieboldii* (Miq.) Ohwi

海岸に普通。

標本: 黒根 alt. 50 m, 海岸崖地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132098, KPM-NA0132099 & KPM-NA0132100) ; 大千代 alt. ca. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071825, 18 Jul. 2010, TI). 文献: MS.

◎イソテンツキ (スギゴケテンツキ) *Fimbristylis pacifica* Ohwi

池之沢の地熱地の噴気口周辺にのみ見られる。

標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131946) ; 同 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133575) ; 同 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148324) ; 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071829, 18 Jul. 2010, TI). 文献: S.

◎アイダクグ *Kyllinga brevifolia* Rottb. var. *brevifolia*

各所の路傍や草地に普通。

標本: 池之沢丸山 alt. 150 m, 路傍 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132067). 文献: M (タイワンヒメクグ) S.

●ヒメクグ *Kyllinga brevifolia* Rottb. var. *leiolepis* (Franch. & Sav.) H.Hara

公園整備地のみで確認した。

標本: 岡部尾山展望公園 alt. 390 m, 草地 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132152).

サトイモ科 ARACEAE

◎シマテンナンショウ *Arisaema negishii* Makino

池之沢の樹林内路傍にやや普通。伊豆諸島の固有種。救荒作物として利用された。

標本: 池之沢～タカトウ alt. 190 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131918). 文献: S.

◎ウラシマソウ *Arisaema urashima* H.Hara

岡部の集落周辺の樹林内にやや普通。

標本: 岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131930). 文献: MS.

ウキクサ科 LEMNACEAE

○アオウキクサ *Lemna aoukikusa* T.Beppu & Murata

今回の調査では島内の雨水ますなどの貯水施設でウキクサ類を見ることはできなかった。嶋根 (1980) も見てい

ないので、次種とともに絶えたものとする。

文献: M (雨水ます) S (未見).

○ウキクサ *Spirodela polyhiza* (L.) Schleid.

文献: M (雨水ます) S (未見).

ツユクサ科 COMMELINACEAE

●マルバツユクサ *Commelina benghalensis* L.

帰化。池之沢や岡部の畑地周辺に多い。

標本: 池之沢金土ヶ平 alt. 96 m, 畑地 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132448).

◎ツユクサ *Commelina communis* L. var. *communis*

各所の路傍や畑地周辺に普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132177). 文献: TMS.

イグサ科 JUNCACEAE

●クサイ *Juncus tenuis* Willd. var. *tenuis*

各所の路傍の湿所に普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132175).

ユリ科 LILIACEAE

○ノビル *Allium macrostemon* Bunge

嶋根 (1980) に「池之沢に少ない」とあるが、今回の調査では発見されなかった。

文献: S.

◎サクユリ *Lilium auratum* Lindl. var. *platyphyllum* Baker

各所の草地や路傍に普通。ヤマユリの伊豆諸島固有変種。

標本: タカトウ alt. 250 m, 風衝草地 (普通) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132073 & KPM-NA0132078) ; 岡部大凸部 alt. 380 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148341) ; 岡部東台所神社～尾山展望公園 alt. 350 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071902, 19 Jul. 2010, TI). 文献: TMS

●シンテッポウユリ *Lilium* × *formolago* Hort.

帰化。道路法面に多くなりつつある。嶋根 (1980) が記録したテッポウユリ *Lilium longiflorum* Thunb. は本種と思われる。

標本: 流し坂旧道 alt. 200 m, 道路法面崖地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132421).

◎スカシユリ *Lilium maculatum* Thunb. var. *maculatum*

海岸崖地や岡部周辺の路傍草地にやや普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 道路法面 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132173) ; 大千代 alt. ca. 200 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10071823, 18 Jul. 2010, TI). 文献: TMS.

◎トゲナシサルトリイバラ *Smilax china* L. var. *yanagitai* Honda

各所の林縁や草地に普通。トゲを全く欠くものが多いが、稀に短い棘を持つものも見られる。

標本: 岡部大凸部 alt. 420 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131967 & KPM-NA0132251) ; タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072003, 20 Jul. 2010, TI). 文献: TMS.

リュウゼツラン科 AGAVACEAE

◎アオノリュウゼツラン *Agava americana* L.

帰化。池之沢の地熱地周辺に多い。

標本：池之沢丸山 地熱地, 幼苗 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148351) ; 池之沢四方平地熱地, 花序の一部 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148350). 文献 : S.

ヒガンバナ科 AMARYLLIDACEAE

◎ヒガンバナ *Lycoris radiata* Herb.

岡部周辺に稀。

標本：岡部東台所神社 alt. 400 m, 神社石段 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133555). 文献 : M S.

ヤマノイモ科 DIOSCOREACEAE

●ニガカシュウ *Dioscorea bulbifera* L.

池之沢から三宝港に至る旧道で見たのみ。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132431).

◎ヤマノイモ *Dioscorea japonica* Thunb.

岡部周辺の林縁や草地に多い。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132458). 文献 : M S.

◎オニドコロ *Dioscorea tokoro* Makino

各所の林縁や草地に普通。

標本：タカトウ alt. 250 m, 風衝低木林 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132077) ; 同 alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072001, 20 Jul. 2010, TI) ; 池之沢丸山 alt. 180 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132413) ; 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071803, 18 Jul. 2010, TI) ; 大千代 alt. ca. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071826, 18 Jul. 2010, TI) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Jul. 2010, KPM-NA0148348). 文献 : S.

アヤメ科 IRIDACEAE

○ヒオウギ *Belamcanda chinensis* (L.) DC.

嶋根 (1980) は「池之沢、湿気の多い地を好む、少ない」と記されているが、今回の調査では発見できなかった。ヒオウギはススキ草原の植物で、青ヶ島には生育環境はないように思われる。

文献 : S.

◎ニワゼキショウ *Sisyrinchium rosulatum* Bickn.

帰化。各所の路傍に多いがオオニワゼキショウほどではない。

標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131757). 文献 : S.

●オオニワゼキショウ *Sisyrinchium* sp.

帰化。各所の路傍や草地に普通。

標本：大千代分岐 alt. 300 m (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131747) ; 岡部神子の浦下り口付近 alt. 200 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132249).

●ヒメヒオウギズイセン (モントブレッチア) *Tritonia*

×*crocosmaeflora* G.Nicholson

帰化。各所の路傍や空地周辺にやや普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 390 m (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132174).

ショウガ科 ZINGIBERACEAE

◎ゲットウ *Alpinia speciosa* K.Schum.

帰化。栽培していたものが野生化し、池之沢に多い。

標本：池之沢中之島 alt. 100 m, タブ・ホルトノキ樹林内 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132062) ; 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071819, 18 Jul. 2010, TI). 文献 : S.

◎ハナシュクシャ *Hedychium coronarium* Koenig

帰化。栽培していたものが野生化。

標本：岡部休戸郷休戸橋下流方面 alt. 230 m (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133602). 文献 : M S

◎ミョウガ *Zingiber mioga* (Thunb.) Roscoe

帰化。池之沢の現在は人が入らない所でも見かけた。

標本：池之沢恋ヶ奥 alt. 90 m, ホルトノキ優先林内 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132106). 文献 : S.

ラン科 ORCHIDACEAE

○エビネ *Calanthe discolor* Lidl.

嶋根 (1980) は「火口原に稀に産する」と記録しているが、今回の調査では見出すことができなかった。

文献 : S.

◎シマササバラ *Liparis formosana* Rchb.f. var. *hachijoensis* (Nakai) Ohwi

池之沢の溶岩地帯の樹林内にやや稀。ユウコクラン *L. formosana* Rchb.f. var. *formosana* の伊豆諸島固有変種。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132442, KPM-NA0132443 & KPM-NA0132444). 文献 : S.

○ニラバラ *Microtis unifolia* (G.Forst.) Rchb.f.

嶋根 (1980) は「噴気孔地域に稀に生ずる」と記しているが、今回の調査では発見できなかった。八丈島にあるので、再発生する可能性は高い。

文献 : S.

●ハチジョウツレサギ *Platanthera okuboi* Makino

風衝草地に稀。伊豆諸島の固有種。

標本：タカトウ alt. 250 m (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132076).

◎ネジバナ *Spiranthes sinensis* (Pers.) Ames var. *amoena* (M.Bieb.) H.Hara

風衝草地にやや稀。葉は幅 1 cm を超えるものが多い。

標本：大千代 alt. 150 m, 海岸風衝草地 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132178) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071907, 19 Jul. 2010, TI). 文献 : S.

ドクダミ科 SAURURACEAE

◎ドクダミ *Houttuynia cordata* Thunb.

路傍にやや普通。

標本：岡部休戸郷大里神社 alt. 340 m, (勝山輝男, 4 Jul.

2008, KPM-NA0132189). 文献: M S.

コショウ科 PIPERACEAE

◎フウトウカズラ *Piper kadsura* (Chois.) Ohwi

各所の崖地や樹林内樹幹に普通。

標本: 池之沢大橋水源 alt. 150 m, 常緑広葉樹林 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131776). 文献: T M S.

カバノキ科 BETULACEAE

◎オオバヤシヤブシ *Alnus sieboldiana* Matsum.

各所の樹林地や林縁に普通。

標本: 池之沢~タカトウ alt. 190 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131913); 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071818, 18 Jul. 2010, TI). 文献: T M S.

ブナ科 FAGACEAE

○クリ *Castanea crenata* Siebold. & Zucc.

嶋根 (1980) は「(池之沢、稀、植栽)」と記しているが、今回の調査では発見できなかった。

文献: S.

◎ツブラジイ (コジイ) *Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky
植栽。岡部や池之沢の樹林地にやや少ない。

標本: 池之沢中之島 alt. 100 m, タブ・ホルトノキ優先樹林内 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132065). 文献: M S.

ニレ科 ULMACEAE

○ケヤキ *Zelkova serrata* Makino

嶋根 (1980) は「岡部清受寺境内、植栽」を記しているが、今はない。

文献: M S.

クワ科 MORACEAE

◎イヌビワ *Ficus erecta* Thunb. var. *erecta*

各所の樹林内や林縁に普通。

標本: 池之沢~タカトウ alt. 200 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131908); 同 alt. 190 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132252); タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072009, 20 Jul. 2010, TI); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071807, 18 Jul. 2010, TI); ヤリの坂 alt. 130-300 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072012, 20 Jul. 2010, TI). 文献: T M S.

◎ハチジョウグワ *Morus kagayamae* Koidz.

各所の樹林内や林縁に普通。伊豆諸島の準固有種で、伊豆諸島のほか伊豆半島などに分布。ヤマグワ *M. Bombycis* Koidz. に含める見解もある (Ohba & Akiyama, 2002 など)。標本: 池之沢~タカトウ alt. 190 m, 風衝低木林、雄株 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131921). 文献: T M S.

イラクサ科 URTICACEAE

◎ラセイトソウ *Boehmeria biloba* Wedd.

各所の崖地や路傍に普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132473). 文献: T M S.

●シマナガバヤブマオ *Boehmeria egregia* Satake

各所の路傍にやや普通。伊豆諸島の準固有種で、伊豆諸島のほか関東南部に分布。

標本: 池之沢四方平 alt. 100 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132418).

○クサマオ (カラムシ) *Boehmeria nivea* (L.) Gaudich. var. *nivea*
嶋根 (1980) は別名にナンバンカラムシを記しており、両者を区別していなかった可能性がある。今回の調査ではクサマオは見いだせず、ナンバンカラムシのみを確認した。
文献: M S.

●ナンバンカラムシ *Boehmeria nivea* (L.) Gaudich. var. *tenacissima* (Gaud.) Miq.

帰化。各所の路傍に普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132479).

◎ヤナギイチゴ *Debregeasia edulis* (Siebold & Zucc.) Wedd.

各所の樹林内や林縁にやや普通。

標本: 池之沢中之島 alt. 100 m, 林縁 (普通) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132066). 文献: M S.

◎ハドノキ *Oreocnide pedunculata* (Shirai) Masam.

各所の樹林内や林縁などに普通。池之沢の溶岩地帯の低木層の優先種。伊豆諸島では八丈島でも確認されている。
標本: 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131787); 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071820, 18 Jul. 2010, TI). 文献: T (イワガネ *Oreocnide fruticosa* として記録) M S.

○ムカゴイラクサ *Laportea bulbifera* (Siebold & Zucc.) Wedd.
嶋根 (1980) は「加藤氏」として記録。今回の調査では発見できなかった。

文献: S.

◎アオミズ *Pilea mongorica* Wedd.

樹林内の湿った路傍に普通。

標本: 岡部東台所神社 alt. 400 m, 神社石段 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133554); 池之沢三宝港への旧道 alt. 150 m, 樹林内路傍 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132432). 文献: M S.

◎コケミズ *Pilea peploides* (Gaudich.) Hook. & Arn.

樹林内の湿った路傍に普通。

標本: 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131797 & KPM-NA0132209). 文献: M S.

◎ヤンバルツルマオ (ツルマオモドキ、オオバヒメマオ) *Pouzolzia zeylanica* (L.) J. Bennet

池之沢の地熱地帯に多い。伊豆諸島では青ヶ島にのみ産する。屋久島以南に分布し、伊豆諸島に隔離分布。

標本: 池之沢丸山登り口 alt. 150 m, 地熱地帯の草地に群生 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131934 & KPM-NA0132259); 池之沢四方平野球場上部 alt. 110 m, 地熱地帯 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132094). 文献: T M S.

タデ科 POLYGONACEAE

◎ツルソバ *Persicaria chinensis* (L.) Nakai

路傍や林縁に普通。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132457). 文献：T M S.

◎イヌタデ *Persicaria longiseta* (De Bruyn) Kitag. var. *longiseta*
路傍や畑地周辺に普通。

標本：岡部東台所神社 alt. 410 m (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132155). 文献：T M S.

●イシミカワ *Persicaria perfoliata* (L.) H.Gross
池之沢の畑地周辺に稀。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Sep. 2010, KPM-NA0148337).

○ママコノシリヌグイ *Persicaria senticosa* (Meins.) H.Gross
嶋根 (1980) は「稀にツルソバに混じって生育」と記しているが、今回の調査では発見できなかった。
文献：S (海岸や畑地に少ない)。

●ミゾソバ *Persicaria thunbergii* (Siebold & Zucc.) H.Gross
大凸部周辺に稀。

標本：大凸部分岐 alt. 350 m, 路傍 (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Sep. 2010, KPM-NA0148340).

◎ハチジョウイタドリ *Fallopia japonica* (Houtt.) Ronse Decr.
var. *hachijidoense* (Makino) Yonek. & H. Ohashi
各所の路傍、草地、林縁などに普通。イタドリの伊豆諸島固有変種。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132468) ; 池之沢平成流し坂下～大橋分岐 alt. 100 m, 砂礫地 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132450). 文献：T M S.

●アレチギンギシ *Rumex conglomeratus* Murray
帰化。岡部の路傍にやや稀。

標本：岡部西郷 alt. 290 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Sep. 2010, KPM-NA0148345).

○スイバ *Rumex acetosa* L.

水島 (1955) や嶋根 (1980) に「普通」と記録されているが、今回の一連の調査では確認できなかった。
文献：M (草地に普通) S (岡部の空き地や畑地に普通)

◎ナガバギンギシ *Rumex crispus* L.
帰化。路傍にやや普通。

標本：岡部西郷 alt. 270 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131963). 文献：M (貧弱な個体) S.

アカザ科 CHENOPODIACEAE

○シロザ *Chenopodium album* L. var. *album*

シロザは本州では畑地にもっとも普通な雑草であるが、今回の調査中に青ヶ島の路傍や畑地では次のホソバアカザを見ることはあったが、シロザはまったく見かけなかった。

文献：T (補遺) M (畑地) S (岡部、畑・空地に少ない)

●ホソバアカザ *Chenopodium album* L. var. *stenophyllum* Makino

池之沢の路傍や裸地に稀。

標本：池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132406).

◎アリタソウ *Chenopodium ambrosioides* L. var. *ambrosioides*
路傍や畑地周辺に普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男, 12

Sep. 2008, KPM-NA0132465). 文献：S (加藤氏、ケアリタソウ)。

ヒユ科 AMARANTHACEAE

◎ハチジョウウイノコヅチ *Achyranthes bidentata* Blume var. *hachijoensis* (Honda) Momiyama

路傍や林縁にやや普通。

標本：流し坂旧道 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132422) ; 岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132460). 文献：T M S

●ヒナタイノコヅチ *Achyranthes bidentata* Blume var. *tomentosa* (Honda) H.Hara

路傍にやや普通。岡部神子の浦歩道上部にはハチジョウウイノコヅチとヒナタイノコヅチが隣接して生育しており、両者の中間的なもの (KPM-NA0132463) が見られた。嶋根 (1980) はヒカゲイノコヅチ *A. japonica* (Miq.) Nakai の和名を「イノコヅチ」として記録し、「岡部・池之沢、空き地、普通」とした。生育環境が「空地」としていることから、これはヒナタイノコヅチを記録したものと考えられる。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132461 & KPM-NA0132462).

○イヌビユ *Amaranthus blitum* L.

水島 (1955) は「uncommon」、嶋根 (1980) は「岡部、路傍に少ない」と記録したが、今回の調査では発見できなかった。

文献：T M S.

スベリヒユ科 PORTULACACEAE

◎スベリヒユ *Portulaca oleracea* L. var. *oleracea*

本州では夏季の畑地の雑草としてもっとも普通に見られる植物であるが、青ヶ島では池之沢のグランドに発生するのみできわめて稀である。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, グランド (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132048). 文献：M S.

ナデシコ科 CARYOPHYLLACEAE

◎ミミナグサ *Cerastium fontanum* Baumg. subsp. *triviale* (Spenn.) Jalas var. *angustifolium* (Franch.) H.Hara

路傍の草地や風衝草地にやや普通。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131950) ; 同 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132237). 文献：M S.

◎オランダミミナグサ *Cerastium glomeratum* Thuill.

帰化。路傍や畑地周辺に普通。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131769) ; 岡部神子の浦 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132247). 文献：S.

◎オムナグサ *Drymaria cordata* (L.) Willd. ex Roem. & Schult. var. *pacifica* M.Mizush.

帰化。畑地周辺にやや普通。かつては、南アジア～南西諸島に分布するヤンバルハコベ *D. diandra* Blume と混同されていたが、Mizushima (1957a) が伊豆諸島や小笠原

のものは本種で、アメリカ大陸からの帰化植物とした。その際に本種の和名には青ヶ島で使われていた「オムナグサ」を用いることを提唱した。オムナさんという青ヶ島の婦人が八丈島から青ヶ島にこの植物を持ち帰ったことに由来するといわれる。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 畑地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132108). 文献：M (ヤンバルハコベで記録) S.

●ハマツメクサ *Sagina maxima* A.Gray var. *maxima*

路傍や荒地にやや普通。

標本：池之沢 alt. 97 m (支倉千賀子・勝山輝男, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132234).

◎ツメクサ *Sagina japonica* (Sw.) Ohwi

路傍に普通。青ヶ島にはほっそりとした普通のツメクサもあるが、中にはハマツメクサと区別ができないような、肉厚な葉をつけたものもあり、種子に顕著な突起があるかどうか確認しないと両者の区別はできない。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131959) ; 岡部神子の浦下り口 alt. 250 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131948 & KPM-NA0132244). 文献：M S.

○シバツメクサ *Scleranthus annuus* L.

帰化。嶋根 (1980) が「噴気孔地域に多い」と報告しているが、池之沢などの地熱地帯を丹念に探したが見つからなかった。八丈島には多いので、一時的に侵入して増加し、その後消滅したと考えられる。

文献：S.

●シロバナマンテマ *Silene gallica* L. var. *gallica*

帰化。路傍や荒地にやや稀。

標本：池之沢大橋 alt. 90 m (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132230).

◎ノミノフスマ *Stellaria alsine* Grimm var. *undulata* (Thunb.)

Ohwi

路傍に普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131969). 文献：T M S.

◎ウシハコベ *Stellaria aquatica* (L.) Scop.

路傍や畑地周辺に普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131970 & KPM-NA0132197). 文献：T M S.

◎コハコベ *Stellaria media* (L.) Vill.

路傍に普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132196). 文献：T (補遺) M S.

◎ミドリハコベ *Stellaria neglecta* Weihe

路傍に普通。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131916). 文献：S.

キンポウゲ科 RANUNCULACEAE

◎ヤマキツネノボタン *Ranunculus silerifolius* H.Lév. var. *quelpartensis* (H.Lév.) Sig.Tanaka

樹林内の路傍に普通。青ヶ島産の植物は茎に開出毛があ

るため、津山 (1938) はケキツネノボタンとして報告したが、水島 (1955) や Mizushima (1957b) は葉の形や瘦果の先の鉤からキツネノボタン (ヤマキツネノボタン) とした。キツネノボタン var. *silenifolius* は低湿地に生え、茎はほとんど無毛または寝た毛がまばらに生えるが、山間の湿った所に生えるものは、花がまばらにつき、茎には斜上または開出毛が密生し、ヤマキツネノボタン var. *quelpartensis* にあたる。城川 (2001) はヤマキツネノボタンのうち茎に開出毛のあるものをタチゲキツネノボタン var. *hirusutus* num. nud. として区別した。青ヶ島産のものは細分すれば、このタチゲキツネノボタンに相当する。標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131767); 岡部神子の浦 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132245). 文献：T (ケキツネノボタンで記録) M S.

アケビ科 LARDIZABALACEAE

○ミツバアケビ *Akebia trifoliata* (Thunb.) Koidz.

嶋根 (1980) が池之沢でツバキの苗に付着していたものを記録したのみ。

文献：S.

○ムベ *Stauntonia hexaphylla* (Thunb.) Decne.

嶋根 (1980) は「池之沢に稀」と記録したが、今回の調査では発見できなかった。

文献：S.

ツヅラフジ科 MENISPERMACEAE

◎アオツヅラフジ (カミエビ) *Cocculus orbiculatus* (L.) DC.

岡部の路傍草地に稀。

標本：岡部, alt. 270 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 21 Jul. 2010, KPM-NA0148349). 文献：S (岡部、ヘリポートに稀).

クスノキ科 LAURACEAE

◎ヤブニッケイ *Cinnamomum japonicum* Siebold ex Nakai

池之沢にやや稀。

標本：池之沢大石ヶ平 alt. 100 m, タブ・ホルトノキ優先樹林内 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132059). 文献：M S.

◎タブノキ *Machilus thunbergii* Siebold & Zucc.

各所に普通。島内の自然林の優先種。

標本：池之沢大橋水源 alt. 150 m, 常緑広葉樹林 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131775). 文献：T M S.

ケシ科 PAPAVERACEAE

◎ムニンケマン *Corydalis heterocarpa* Siebold & Zucc. var. *brachystyla* Ohwi

路傍や草地にやや普通。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131915) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071903, 19 Jul. 2010, TI). 文献：M S.

アブラナ科 BRASSICACEAE (CRUCIFERAE)

◎ナズナ *Capsella bursa-pastoris* Medik. var. *triangularis* Gruner

路傍や畑地周辺に普通。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132193). 文献：M S.

●タネツケバナ *Cardamine flexuosa* With. var. *flexuosa*
路傍に普通。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131795 & KPM-NA0132207). 文献：S (コタネツケバナで記録)。

◎カラクサナズナ (インチンナズナ) *Coronopus didymus* (L.) Sm. 帰化。路傍や荒地に普通。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131768). 文献：T M S.

◎ハマダイコン *Raphanus sativus* L. var. *raphanistroides* Makino

路傍にやや稀。

標本：岡部平ノ耕地 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131965). 文献：S.

●ミチバタガラシ *Rorippa dubia* H.Hara

岡部の路傍や人家の庭にやや普通。

標本：岡部中原 alt. 280 m, 庭 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132437).

●イヌガラシ *Rorippa indica* (L.) Hiern

路傍にやや普通。

標本：岡部尾山 alt. 350 m, 路傍 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132438).

ベンケイソウ科 CRASSULACEAE

◎コモチマンネングサ *Sedum bulbiferum* Makino

岡部の石垣に稀。青ヶ島のものは肉芽の葉が数個あり、コウライコモチマンネングサ *S. rosulato-bulbosum* Koidz. の型である。

標本：岡部神子ノ浦下り口 alt. 250 m, 石垣に稀 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132072). 文献：S (コウライコモチマンネン)。

●ツルマンネングサ *Sedum sarmentosum* Bunge

路傍に稀。

標本：岡部休戸郷休戸橋旧道 alt. 270 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132430).

トベラ科 PITTOSPORACEAE

◎トベラ *Pittosporum tobira* (Thunb.) Aiton

風衝地や林縁などに普通。

標本：流し坂旧道 alt. 200 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132426); タカトウ alt. 200-270 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10072006, 20 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

ユキノシタ科 SAXIFRAGACEAE

◎ラセイタタマアジサイ *Hydrangea involucrata* Siebold var. *idzuensis* Hayashi

樹林内や林縁などに普通。ラセイタタマアジサイは静岡県賀茂郡城東村 (現在の東伊豆町) 産の植物を Type とし、タマアジサイに比べて、葉が大きく、質厚く、毛が多く、花柱が3本あることから変種として区別された (林, 1963)。その後、大場 (1975) は伊豆諸島のタマア

ジサイはラセイタタマアジサイで、Type 産地のものは伊豆諸島から移入されたものと考え、ラセイタタマアジサイを伊豆諸島固有変種とした。しかし、Ohba & Akiyama (2002) は伊豆諸島のほか、賀茂郡南上村 (現在の南伊豆町) と安倍郡美和村 (現在の静岡市) 産の標本に、葉が大きく、質厚く、毛が多く、柱頭が3本のものであり、これらをラセイタタマアジサイと同定し、ラセイタタマアジサイを伊豆諸島の固有変種からはずした。また、Ohba & Akiyama (2002) は葉が大きく、質厚く、毛が多いものは神奈川県や山梨県にもあるが、それらは花柱が2本であることからラセイタタマアジサイには含めなかった。今回、青ヶ島産のラセイタタマアジサイの標本は1点しか作成しなかったが、この標本は葉が大きく、質厚く、毛が多い点ではラセイタタマアジサイであるが、花柱は2本のもので多く、3本のもので混ざる程度であった。現地では、青ヶ島産のタマアジサイにそれほど大きな変異があるようには見えず、青ヶ島にタマアジサイとラセイタタマアジサイの両者が分布しているとは思えない。Ohba & Akiyama (2002) も青ヶ島産の標本3点をラセイタタマアジサイとして引用しているので、本稿では青ヶ島のタマアジサイをラセイタタマアジサイとして扱った。ラセイタタマアジサイについては、その識別形質や位置づけも含めて再検討が必要と考える。

標本：岡部大凸部 alt. 380 m, 常緑広葉樹林内路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132481); 休戸郷 (M. Kato & E. Miki 194, 30 Oct. 1977 TI); 休戸郷～三宝港 (M. Kato & E. Miki 198, 2 Nov. 1977 TI). 文献：M (タマアジサイ) S (タマアジサイ)。

◎ガクアジサイ *Hydrangea macrophylla* (Thunb.) Ser. form. *normalis* (Wilson) H.Hara

樹林内、林縁、風衝地などに普通。

標本：岡部神子の浦歩道上部 alt. 200 m, 樹林内 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131949); 岡部大凸部 alt. 410 m, 風衝低木林 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132170); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10071805, 18 Jul. 2010, TI). 文献：T (ガクバナ) M S.

バラ科 ROSACEAE

◎キンミズヒキ *Agrimonia pilosa* Ledeb. var. *japonica* (Miq.) Nakai

路傍や草地に多い。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132469 & KPM-NA0132470). 文献：M S.

◎ヘビイチゴ *Duchesnea chrysantha* (Zoll. & Moritzi) Miq. 路傍や畑地周辺に普通。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131796); 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10071815, 18 Jul. 2010, TI). 文献：M S.

◎ヤブヘビイチゴ *Duchesnea indica* (Andrews) Focke var. *major* Makino

路傍にやや稀。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支

倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131974). 文献: M S.

◎オオシマザクラ *Prunus speciosa* Koidz.

植栽。

標本: 池之沢島岸跡地付近 alt. 100 m (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132060). 文献: M S.

◎ビロードカジイチゴ(ハチジョウイチゴ) *Rubus ribisoideus* Matsum.

路傍や林縁に普通。

標本: 池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131763); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071809, 18 Jul. 2010, TI); 岡部神子の浦歩道 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132240). 文献: T M S.

○コジキイチゴ *Rubus sumatranus* Miq.

嶋根 (1980) は「池之沢に普通」と記録しているが、今回の調査では確認できなかった。水島 (1955) は津山 (1938) の記録を引用しているが、自らは見出すことができなかったと記している。

文献: T S.

◎カジイチゴ *Rubus trifidus* Thunb.

路傍や林縁に普通。

標本: 池之沢大橋 alt. 90 m, 路傍林縁 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131778). 文献: T M S.

マメ科 FABACEAE (LEGUMINOSAE)

●イタチハギ *Amorpha fruticosa* L.

帰化。路傍にやや稀。

標本: 岡部尾山 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132490).

●ヤブマメ *Amphicarpaea edgeworthii* Benth. var. *japonica* Oliv.
路傍に稀。

標本: 池之沢丸山 alt. 160 m (勝山輝男・加藤英寿・池田博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148331).

○ハマナタマメ *Canavalia lineata* (Thunb.) DC.

嶋根 (1980) は「海岸・池之沢に稀」と記録したが、今回の調査では発見できなかった。

標本: 三宝港付近, 少ない (水島正美, 17 Nov. 1954, TI). 文献: M S.

◎ヌスビトハギ *Desmodium oxyphyllum* DC.

路傍や草地に普通。

標本: 池之沢大石ヶ平 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132057); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10071812, 18 Jul. 2010, TI). 文献: M S.

◎ツルマメ *Glycine soja* Siebold & Zucc.

路傍に普通。

標本: 池之沢流れ坂下~大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132405). 文献: S.

●メドハギ *Lespedeza cuneata* (Dum.Cours.) G.Don var. *cuneata*
尾山展望公園にまとまって見られ、緑化のため種子が蒔かれたものと思われる。

標本: 岡部尾山 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132488).

◎クズ *Pueraria lobata* (Willd.) Ohwi

林縁に普通。フシゲクズ var. *insularis* M.Mizush. in Misc.

Rep. Res. Inst. Natur. Resources (41-42): 80 (1956) は、青ヶ島産の植物を Type として記載された変種で、葉柄や葉身に下向きの寝た毛が生える。Mizushima (1956) は伊豆諸島産のクズはこの変種にあたるとしたが、他地域産のクズの葉柄や葉身にも下向きの毛があり、特に区別する必要はない。

標本: 池之沢丸山 alt. 180 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132415). 文献: M S.

●コメツブツメクサ *Trifolium dubium* Sibth.

帰化。嶋根 (1980) に記録はないが、現在では、島内の路傍や空き地に普通に見られる。

標本: 岡部休戸郷 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131929).

●シロツメクサ *Trifolium repens* L.

帰化。路傍に多い。

標本: 池之沢青宝トンネル入口 alt. 100 m, 道路法面 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132087).

◎ヤハズエンドウ *Vicia angustifolia* L. var. *segetalis* (Thuill.)

W.D.J.Koch

路傍や草地に普通。

標本: 岡部休戸郷 alt. 300 m, 路傍草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131927). 文献: S.

◎スズメノエンドウ *Vicia hirsuta* (L.) Gray

路傍の草地に普通。

標本: 岡部休戸郷 alt. 300 m, 路傍 (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132195). 文献: S.

◎カスマグサ *Vicia tetrasperma* (L.) Schreb.

路傍や草地に普通。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131790 & KPM-NA0132224). 文献: S.

カタバミ科 OXALIDACEAE

◎ケカタバミ *Oxalis corniculata* L. var. *trichocaulon* H.Lév.

路傍に普通。青ヶ島のものは葉に密に毛がある。

標本: 大千代分岐 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131744); 池之沢大橋 alt. 90 m (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132231). 文献: T (カタバミとして) M (カタバミ) S (カタバミ).

◎ムラサキカタバミ *Oxalis corymbosa* DC.

帰化。路傍に稀。

標本: 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131909). 文献: M S.

フウロソウ科 GERANIACEAE

◎ゲンノショウコ *Geranium thunbergii* Siebold ex Lidl. & Paxton

路傍の草地にやや稀。

標本: 岡部西郷 alt. 290 m (勝山輝男・加藤英寿・池田博, 19 Jul. 2010, KPM-NA 0148346). 文献: M (ベニバナゲンノショウコ、草地に普通) S (池之沢、少ない).

トウダイグサ科 EUPHORBIACEAE

◎エノキグサ *Acalypha australis* L. var. *australis*

路傍や荒地に普通。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132478). 文献：T M S.

◎シマニシキソウ *Chamaesyce hirta* (L.) Millsp.

路傍や荒地にやや稀。

標本：池之沢四方平 alt. 110 m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132092); 同 alt. 100 m, グランド裸地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132419). 文献：T M S

●コニシキソウ *Chamaesyce maculata* (L.) Small

帰化。嶋根 (1980) に記録はないが、現在では、島内の路傍や空き地に普通に見られる。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, グランド裸地 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132089); 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071912, 19 Jul. 2010, TI).

●イリオモテニシキソウ *Chamaesyce thymifolia* (L.) Millsp.

帰化。嶋根 (1980) に記録はないが、現在では、島内の路傍や空き地に普通に見られる。八丈島にも多い。

標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131756); 同 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132420).

◎アカメガシワ *Mallotus japonicus* (L.f.) Mull.Arg.

林縁に普通。

標本：黒根下り道 alt. 150 m, 路傍草地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132104); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071806, 18 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

◎コミカンソウ *Phyllanthus hookeri* Mull.Arg.

帰化。路傍や畑地周辺に普通。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, グランド裸地 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132091); 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071915, 19 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

ミカン科 RUTACEAE

◎カラスザンショウ *Zanthoxylum ailanthoides* Siebold & Zucc.

各所に普通。青ヶ島のものは刺があるが、本州のものに比べて刺ははるかに短い。

標本：平成流し坂 alt. 150 m, 斜面林 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132097); 池之沢丸山 alt. 180 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148334); 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿・10071806, 18 Jul. 2010, TI). 文献：M (トゲナシカラスザンショウで記録) S (トゲナシカラスザンショウは未見).

センダン科 MELIACEAE

◎センダン *Melia azedarach* L.

池之沢に稀。

標本：池之沢島丁跡地付近 alt. 100 m, タブ・ホルトノキの優先する樹林 (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132050). 文献：M S.

ヒメハギ科 POLYGALACEAE

●ヒメハギ *Polygala japonica* Houtt.

海岸風衝草地にやや稀。

標本：大千代 alt. 150 m, 海岸風衝草地 (勝山輝男, 4 Jul.

2008, KPM-NA0132181); 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071827, 18 Jul. 2010, TI).

ツゲ科 BUXACEAE

◎ツゲ *Buxus microphylla* Siebold & Zucc. var. *japonica* (Muell.

Arg) Rehd. & Wils.

神社に植栽。

標本：岡部東台所神社 alt. 410 m, 神社に植栽 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132154). 文献：M S.

モチノキ科 AQUIFOLIACEAE

◎モチノキ *Ilex integra* Thunb.

池之沢の樹林内にやや少ない。

標本：池之沢大石ヶ平 alt. 100 m, タブ・ホルトノキの優先樹林内 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132056). 文献：M S.

ニシキギ科 CELASTRACEAE

◎マサキ *Euonymus japonicus* Thunb. var. *japonicus*

海岸風衝地や林縁に普通。伊豆諸島や関東地方南部の海岸に生えるマサキは葉が大きく、幅広く、幹の基部がはい、節から発根する。このようなものをツルオオバマサキ var. *radicifer* Nakai というが、マサキとの区別ははっきりしない。

標本：岡部東台所神社 alt. 400 m, 風衝低木林 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132153); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071811, 18 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

ブドウ科 VITACEAE

◎テリハノブドウ *Ampelopsis glandulosa* (Wall.) Momiy. var.

hancei (Planch.) Momiy.

林縁に普通。

標本：池之沢～タカトウ alt. 200 m, 林縁 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132081); タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072005, 20 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

◎ヤブガラシ *Cayratia japonica* (Thunb.) Gagnep.

丸山の一角に稀。八丈島からのツバキの幼樹に付着して入ったものとされる (嶋根, 1980)。

標本：池之沢丸山 alt. 160 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148332). 文献：S.

◎シチトウエビヅル *Vitis ficifolia* Bunge var. *izuinsularis*

(Tuyama) H.Hara

林縁に普通。エビヅルの伊豆諸島固有変種とされていたが、Ohba & Akiyama (2002) は九州や琉球のものも含め、伊豆諸島固有変種からは外した。

標本：大千代 alt. 200 m, 海岸風衝低木林 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132183); 池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071918, 19 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

ホルトノキ科 ELAEocarpaceae

◎ホルトノキ *Elaeocarpus sylvestris* (Lour.) Poir. var. *ellipticus*

(Thunb.) H.Hara

各所に普通。タブノキとともに池之沢の自然林の優先種

となっている。

標本：池之沢～タカトウ alt. 150 m, (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132083); 池之沢丸山 alt. 180 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148333); 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071802, 18 Jul. 2010, TI). 文献：M.S.

アオイ科 MALVACEAE

◎フヨウ *Hibiscus mutabilis* L.

路傍や林縁に普通。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉歩道入口 alt. 90 m, ホルトノキ優先林内 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132107); 岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132466). 文献：M.S.

ツバキ科 THEACEAE

◎ヤブツバキ *Camellia japonica* L. var. *japonica*

植栽。丸山の縞状に植林されたツバキ林は 1970 年代に植林されたものといわれる。

標本：池之沢金土ヶ平 alt. 100 m, 常緑広葉樹林 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132441). 文献：T (補遺) M.S.

◎ヒサカキ *Eurya japonica* Thunb. var. *japonica*

各所に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 420 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131966); 池之沢丸山 alt. ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071810, 18 Jul. 2010, TI). 文献：T M.S.

スミレ科 VIOLACEAE

◎シチトウスミレ *Viola grypceras* A.Gray var. *hichitoana* (Nakai) F.Maek.

路傍の草地に普通。タチツボスミレの伊豆諸島固有変種とされてきたが、Ohba & Akiyama (2002) は本州 (関東南部以西) ~ 琉球にも分布するとして、固有変種から外した。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131920); 同 alt. 250 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132204); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132214). 文献：T M.S. (いずれもタチツボスミレで記録).

◎コスミレ *Viola japonica* Langsd. ex Ging.

路傍の草地にやや稀。

標本：岡部西郷 alt. 220 m, 路傍 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133593). 文献：M.S.

◎アツバスミレ *Viola mandshurica* W.Becker var. *triangularis* (Franch. & Sav.) M.Mizush.

路傍の草地にやや稀。

標本：池之沢丸山 alt. 200 m, 草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131939 & KPM-NA0132263). 文献：T M.S.

◎ツボスミレ *Viola verecunda* A.Gray var. *verecunda*

池之沢丸山の噴気孔周辺に稀。水島 (1955) はハイツボスミレ form. *radicans* Makino として記録している。

標本：池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133576). 文献：M.S.

キブシ科 STACHYURACEAE

◎ハチジョウキブシ *Stachyurus praecox* Siebold & Zucc. var. *matsuzakii* (Nakai) Makino

各所に普通。キブシの伊豆諸島固有変種とされてきたが、Ohba & Akiyama (2002) は本州 (関東南部以西) ~ 琉球にも分布するとして、固有変種から外した。

標本：池之沢～タカトウ alt. 190 m (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131917). 文献：T M.S.

グミ科 ELAEAGUNACEAE

◎オオバグミ (マルバグミ) *Elaeagnus macrophylla* Thunb.

林縁や風衝地に普通。

標本：タカトウ alt. 250 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131911); 岡部大凸部 alt. 410 m, 山頂部風衝低木林 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133551). 文献：M.S.

◎マルバアキグミ *Elaeagnus umbellata* Thunb. var. *rotundifolia* Makino

林縁や風衝地に普通。

標本：タカトウ alt. 250 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131912). 文献：T M.S.

アカバナ科 ONAGRACEAE

◎ミズタマソウ *Circaea molis* Siebold & Zucc.

津山 (1938)、水島 (1955)、嶋根 (1980) のいずれにも記録があり、嶋根 (1980) は「池之沢の路傍に多い」と記しているが、今回の一連の調査では見出すことができなかった。20 ~ 30 年間に消滅または著しく減少したと思われる。

標本：青ヶ島 (T. Tuyama, 19 Jul. 1933, TI); 休戸郷, open wet place (M. Kato & E. Miki 195, 30 Oct. 1977, TI). 文献：T M.S.

●メマツヨイグサ *Oenothera biennis* L.

帰化。路傍に普通。

標本：池之沢流し坂下～大橋分岐 alt. 100 m, 砂礫地 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132451).

●コマツヨイグサ *Oenothera laciniata* Hill var. *laciniata*

帰化。嶋根 (1980) に記録はないが、現在では、島内の路傍や空き地にきわめて普通に見られる。近年、急増した帰化植物の一つである。

標本：池之沢 alt. 97 m (支倉千賀子・勝山輝男, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132235); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 路傍草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131926); 岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132191).

ウコギ科 ARALIACEAE

◎シチトウタラノキ *Aralia ryukyuensis* (J.Wen) T.Yamaz. var. *inermis* (Yanagita) T.Yamaz.

林縁や風衝地に普通。タラノキの伊豆諸島固有変種。和名は水島 (1955) が青ヶ島産のものに名付けた。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132416) ; 池之沢流れ坂下~大橋分岐 alt. 90 m, 林縁 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133577 & KPM-NA0133580). 文献：T (タラノキで記録) M S.

◎キヅタ *Hedera rhombea* (Miq.) Bean

樹幹や石垣に普通。

標本：岡部神子ノ浦下り口 alt. 250 m, 石垣 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132071). 文献：M S.

セリ科 APIACEAE (UMBELLIFERAE)

◎アシタバ *Angelica keiskei* (Miq.) Koidz.

路傍の草地に普通。食用に半栽培状のものも多い。

標本：黒根下り道 alt. 150 m, 路傍草地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132102) ; 池之沢丸山 alt. 180 m, 路傍草地 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133568) ; タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072007, 20 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

◎ツボクサ *Centella asiatica* (L.) Urb.

路傍の草地に普通。

標本：大千代 alt. 200 m, 海岸風衝低木林内 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132185). 文献：T M S.

◎ミツバ *Cryptotaenia japonica* Hassk.

樹林内や路傍の草地に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 360 m, 常緑広葉樹林内登山道 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132164) ; タカトウ alt. 200-270 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072008, 20 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

◎ノチドメ *Hydrocotyle maritima* Honda

路傍の草地に普通。

標本：岡部東台所神社 alt. 400 m, 神社石段 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132157). 文献：M S.

◎チドメグサ *Hydrocotyle sibthorpioides* Lam. var. *sibthorpioides*

路傍に普通。

標本：岡部東台所神社 alt. 400 m, 神社石段 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132156). 文献：M S.

◎セリ *Oenanthe javanica* (Blume) DC.

樹林内や路傍の草地に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 360 m, 常緑広葉樹林内登山道 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132163) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071905, 19 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

◎ウマノミツバ *Sanicula chinensis* Bunge

樹林内や路傍の草地に普通。

標本：岡部大凸部 alt. 360 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132167). 文献：T M S

●ヤブジラミ *Torilis japonica* (Houtt.) DC.

路傍の草地に普通。

標本：黒根下り道 alt. 150 m, 路傍草地 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132103) ; 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Jul. 2010, KPM-NA0148336).

○オヤブジラミ *Torilis scabra* (Thunb.) DC.

嶋根 (1980) は池之沢に普通と記録しているが、ヤブジ

ラミを記録していないので、その誤認の可能性がある。

文献：S.

ミズキ科 CORNACEAE

◎アオキ *Aucuba japonica* Thunb. var. *japonica*

岡部に稀。嶋根 (1980) は補遺で岡部の渡海神社 (植栽か?) を記録している。今回、休戸郷の海側の樹林内で見出した。

標本：岡部休戸郷休戸橋下流方面 alt. 230 m, 樹林内に稀 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133601). 文献：S.

ヤブコウジ科 MYRSINACEAE

◎マンリョウ *Ardisia crenata* Sims

池之沢の樹林内に多い。

標本：池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131788) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071908, 19 Jul. 2010, TI). 文献：M S.

○ヤブコウジ *Ardisia japonica* (Thunb.) Blume

水島 (1955) は「島内の林下に稀ではない」と記録しているが、嶋根 (1980) は「未見」としている。今回の調査でも発見することはできず、消滅した可能性がある。

標本：西郷~大凸部, 林中に時折群生 少なからず (水島正美, 6 Nov. 1954, TI). 文献：M S (未見)

サクラソウ科 PRIMULACEAE

◎コナスビ *Lysimachia japonica* Thunb. var. *subsessilis* F.Mack. ex H.Hara

各所の路傍に普通。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 150 m, 畑地内の路傍芝地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131924) ; 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071816, 18 Jul. 2010, TI). 文献：M S.

◎ハマボウス *Lysimachia mauritiana* Lam.

海岸風衝地に普通。池之沢丸山の地熱地帯にも生える。

標本：池之沢丸山登り口 alt. 150 m, 地熱地帯 (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132257) ; 池之沢丸山 alt. 130 m, 地熱地帯 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071830, 18 Jul. 2010, TI) ; 岡部神子の浦 alt. 20 m, 海岸砂礫地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131958). 文献：T M S

モクセイ科 OLEACEAE

◎ハチジョウイボタ *Ligustrum ovalifolium* Hassk. var. *pacificum* (Nakai) Mizusima

各所の林縁や風衝地に普通。オオバイボタの伊豆諸島固有変種。

標本：池之沢~タカトウ alt. 190 m, 風衝低木林 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131919) ; 大千代 alt. ca. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071824, 18 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

●ナタオレノキ (ハチジョウモクセイ) *Osmanthus insularis* Koidz.

池之沢の樹林内にやや稀。

標本:池之沢恋ヶ奥大杉 alt. 90 m, 常緑広葉樹林内幼木(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131784); 池之沢丸山 alt. 160 m, 樹林内(勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133571).

リンドウ科 GENTIANACEAE

○コケリンドウ *Gentiana squarrosa* Ledeb.

嶋根(1980)は「内輪山(丸山)外側斜面の明るい林下に生ずる」と記録し、産量を「普通」としているが、今回の調査では見出すことができなかった。

文献: S.

キョウチクトウ科 APOCYNACEAE

◎サカキカズラ *Anodendron affine* (Hook. & Arn.) Druce

林縁や風衝地にやや普通。

標本:池之沢~タカトウ alt. 170 m, 林縁(勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131910); 同 alt. 190 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132253); タカトウ alt. 250 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132205). 文献: M.S.

◎テイカカズラ *Trachelospermum asiaticum* (Siebold & Zucc.)

Nakai var. *asiaticum*

樹林内、林縁、風衝地などに普通。

標本:池之沢~タカトウ alt. 150 m, タブ・ホルトノキ優先樹林(普通)(勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132084); 池之沢四方平(池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10072010, 20 Jul. 2010, TI). 文献: M.S.

ムラサキ科 BORAGINACEAE

◎ハナイバナ *Bothriospermum tenellum* (Hornem.) Fisch. & C.A.Mey.

路傍や畑地周辺に普通。

標本:池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131770); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132216). 文献: M.S.

●キュウリグサ *Trigonotis peduncularis* (Trevir.) Benth. ex Hemsl.

岡部の路傍や人家周辺にやや稀。水島(1955)は津山(1938)のキュウリグサの記録はイワニガナの貧弱な個体の誤認としたが、今回の調査で確認することができた。標本:岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131931). 文献: T.

ヒルガオ科 CONVULVACEAE

◎サツマイモ *Ipomoea batatas* (L.) Poir.

各所に植栽されているが、池之沢丸山の地熱地帯に野生化したものがある。

標本:池之沢丸山 alt. 130 m (勝山輝男・加藤英寿・池田博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148320). 文献: T (補遺) S.

クマツヅラ科 VERBENACEAE

◎オオムラサキシキブ *Callicarpa japonica* Thunb. var.

luxurians Rehder

林縁に普通。

標本:池之沢丸山 alt. 200 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132264); 同(池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071808, 18 Jul. 2010, TI); 池之沢大石ヶ平 alt. 100 m, タブ・ホルトノキ優先樹林内(やや普通)(勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132058); 池之沢流れ坂下~大橋分岐 alt. 90 m, 路傍(勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133579). 文献: M.S.

●シマクサギ *Clerodendrum izuinsulae* K.Inoue, M.Haseg. & Sh.Kobay.

林縁に普通。今回の調査ではクサギ *C. trichotomum* Thunb. は発見できなかった。これまでのクサギの記録はすべて本種と考える。1997年に新種として記載された(Inoue et al., 1997)伊豆諸島の準固有種で、伊豆諸島のほかに三浦半島南部、伊豆半島須崎に分布する。

標本:流し坂旧道 alt. 200 m, 林縁(勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132425); 岡部休戸郷名主屋敷跡入口 alt. 270 m, 林縁(勝山輝男, 2008091, KPM-NA0132428); 岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍(勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133561). 文献: M.S (ともにクサギで記録).

●シチヘンゲ(ランタナ) *Lantana camara* L.

帰化。岡部の路傍に普通。

標本:岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 260 m, 逸出(少)(勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132116).

シソ科 LAMIACEAE (LABIATAE)

◎キラソウ *Ajuga decumbens* Thunb. var. *decumbens*

岡部の路傍に稀。

標本:岡部休戸郷名主屋敷跡 alt. 250 m (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131932). 文献: M (?) S.

○クルマバナ *Clinopodium chinensis* (Benth.) Kuntze var. *parviflorum* (Kudo) H.Hara

水島(1955)は「uncommon」、嶋根(1980)は「池之沢に少ない」と記録しているが、今回の調査では発見できなかった。伊豆諸島のクルマバナは全体に密に毛があり、オキナワクルマバナ var. *chinensis* の可能性がある。

標本:青ヶ島(山口清三郎, 8 Aug. 1930, TI). 文献: T M.S.

◎トウバナ *Clinopodium gracile* (Benth.) Kuntze

路傍の草地に普通。

標本:池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍草地(勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131789 & KPM-NA0132226); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132206). 文献: S.

◎イヌトウバナ *Clinopodium micranthum* (Regel) H.Hara var. *micranthum*

路傍の草地に普通。

標本:岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地(勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132472); 池之沢丸山 alt. ca. 160 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071814, 18 Jul. 2010, TI). 文献: M.S.

◎ハツカ *Mentha arvensis* L. var. *piperascens* Malinv. ex Holmes

岡部の1か所で確認したのみ。

標本:岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地(勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132467). 文献: M.S.

◎ヒメジソ *Mosla dianthera* (Buch.-Ham. ex Roxb.) Maxim.

路傍の草地に普通。

標本：池之沢丸山 alt. 200 m, 路傍草地（勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133567）；岡部休戸郷 alt. 230 m, 路傍草地（勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133597）. 文献：T M S.

○シソ *Perilla frutescens* (L.) Britton var. *crispa* (Thunb.) W.Deane

嶋根 (1980) は「岡部、少ない」と記録しているが、今回の調査で野生状態のものは確認できなかった。

文献：S.

●ヤブチヨロギ *Stachys arvensis* L.

帰化。岡部の草地にやや稀。

標本：岡部神子の浦下り口付近 alt. 250 m, 採草地（勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131961 & KPM-NA0132250）.

◎ツルニガクサ *Teucrium viscidum* Blume var. *miquelianum* (Maxim.) H.Hara

風衝低木林内にやや普通。津山 (1938)、水島 (1955)、嶋根 (1980) はコニガクサ var. *viscidum* として記録しているが、青ヶ島のものは本州産ツルニガクサと違いが認められない。南西諸島のコニガクサはツルニガクサに比べ、葉は厚く、花序も密に花をつける。

標本：タカトウ alt. 250 m, 風衝低木林内 (少) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132075)；池之沢丸山 alt. 160 m, 路傍 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133572)；岡部平ノ耕地 alt. 200 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 19 Jul. 2010, KPM-NA0148347)；同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071904, 19 Jul. 2010, TI). 文献：T (コニガクサ) M (コニガクサ) S (コニガクサ).

ナス科 SOLANACEAE

○センナリホオズキ (ヒメセンナリホオズキ) *Physalis pubescens* L.

帰化。今回の調査ではセンナリホオズキ類は確認できなかった。

標本：火口原 (水島正美, 6 Nov. 1954, TI)；岡部 西郷, 路傍 (水島正美, 6 Nov. 1954, TI). 文献：M S.

●オオイヌホオズキ *Solanum nigrescens* Mart. & Gal.

帰化。路傍にやや稀。

標本：平成流し坂 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133547).

◎イヌホオズキ *Solanum nigrum* L.

路傍や畑地周辺にやや稀。

標本：池之沢島庁跡地付近 alt. 100 m, 畑地 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133563). 文献：M S.

●アメリカイヌホオズキ *Solanum ptycanthum* Dunal ex DC.

帰化。路傍や畑地にやや稀。

標本：池之沢島庁跡地付近 alt. 100m, 畑地 (勝山輝男, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133564).

●カンザシイヌホオズキ *Solanum* sp.

帰化。路傍にやや普通。

標本：池之沢～タカトウ alt. 200 m, 路傍 (やや普通) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132080)；池之沢平成流し坂 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133546).

◎ハダカホオズキ *Tubocapsicum anomalum* (Franch. & Sav.) Makino
樹林内に稀。

標本：タカトウ alt. 220 m (勝山輝男・加藤英寿・池田博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148344). 文献：T M S.

ゴマノハグサ科 SCROPHULARIACEAE

◎ウリクサ *Lindernia crustacea* (L.) F.Muell.

池之沢の噴気孔周辺に多い。

標本：池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131942)；同 alt. 130 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148326)；池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 地熱地帯 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132440). 文献：M S.

◎トキワハゼ *Mazus pumilus* (Burm.f.) Steenis

路傍や地熱地帯の裸地に普通。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131766)；池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071913, 19 Jul. 2010, TI). 文献：M S.

◎キリ *Paulownia tomentosa* (Thunb.) Steud.

植栽。

標本：岡部休戸郷休戸橋下流方面 alt. 230 m (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133603). 文献：M S.

●タチイヌノフグリ *Veronica arvensis* L.

帰化。嶋根 (1980) に記録がないが、現在では路傍に普通に見られる。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131765).

◎ハマクワガタ *Veronica javanica* Blume

池之沢三曾根ヶ崎の1ヶ所で10数株を確認したのみ。

標本：池之沢三曾根ヶ崎 alt. 150 m, 畑地内の路傍芝地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131923 & KPM-NA0132215). 文献：S. (加藤氏).

●ムシクサ *Veronica peregrina* L.

路傍にやや稀。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131762).

●オオイヌノフグリ *Veronica persica* Poir.

帰化。草地に普通。

標本：岡部神子の浦下り口付近 alt. 250 m, 採草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131962).

ハマウツボ科 OROBANCHACEAE

●ナンバンギセル *Aeginetia indica* L.

草地に稀。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍草地 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132471).

キツネノマゴ科 ACANTHACEAE

●キツネノマゴ *Justicia procumbens* L. var. *leucantha* Honda form. *japonica* (Thunb.) H.Hara

荒地に稀。

標本：池之沢流し坂下 alt. 100 m, 路傍 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132445).

オオバコ科 PLANTAGINACEAE

◎オオバコ *Plantago asiatica* L. var. *asiatica*

路傍に普通。

標本：池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131772). 文献：MS.

アカネ科 RUBIACEAE

◎ニセジュズネノキ (オオアリドウシ) *Damnacanthus indicus* C.F.Gaertn. subsp. *major* (Siebold & Zucc.) T.Yamaz.

池之沢の樹林内にやや稀。

標本：池之沢中之島 alt. 100 m, タブノキ・ホルトノキ樹林内 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132064). 文献：M (ジュズネノキ) S.

◎ヤエムグラ *Galium spurium* L. var. *echinospermum* (Wallr.) Hayek

路傍の草地に普通。

標本：大千代分岐 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131752). 文献：S.

◎ヨツバムグラ *Galium trachyspermum* A.Gray var. *trachyspermum*

風衝草地にやや稀。

標本：タカトウ alt. 250 m (支倉千賀子・勝山輝男, 26 Apr. 2008, KPM-NA0132203); 同, 風衝草地 (少) (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132074). 文献：MS.

◎クチナシ *Gardenia jasminoides* J.Ellis

池之沢の樹林内やや普通。地熱地帯では丈が低いがよく開花している。

標本：池之沢丸山 alt. 180 m, 地熱地帯 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131944); 同 (勝山輝男, 13 Sep. 2008, KPM-NA0132454); 池之沢金土ヶ平 alt. 100 m, 溶岩地帯樹林内 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133609). 文献：M (コリンクチナシ) S.

◎フタバムグラ *Hedyotis diffusa* Willd. var. *diffusa*

池之沢の地熱地帯に多い。

標本：池之沢丸山登り口 alt. 150 m, 地熱地帯の湿った裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131935 & KPM-NA0132260); 池之沢丸山 alt. 130 m, 地熱地帯 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071831, 18 Jul. 2010, TI); 池之沢四方平野球場上部 alt. 110 m, 地熱地帯 (勝山輝男, 6 Jul. 2008, KPM-NA0132093). 文献：MS.

◎ソナレムグラ *Hedyotis strigulosa* Bartl. ex DC. var. *parvifolia* (Hook. & Arn.) T.Yamaz.

海岸岩場に多い。

標本：大千代 alt. 100 m, 海岸岩場 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132182). 文献：TMS.

◎ハシカグサ *Neanotis hirsuta* (L.f.) W.H.Lewis var. *hirsuta*

水島 (1955) に「uncommon」、嶋根 (1980) に「岡部、少ない」と記録されたが、今回の調査では発見できなかった。

標本：休戸郷, 谷間の湿地に少し (水島正美, 12 Nov. 1954, TI); 西郷, 林下に普通ならず (水島正美, 6 Nov. 1954, TI). 文献：MS.

◎ハマサオトメカズラ *Paederia scandens* (Lour.) Merr. var. *maritima* (Koidz.) H.Hara

路傍の草地や林縁などに普通。

標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132482). 文献：TMS.

スイカズラ科 CAPRIFOLIACEAE

◎ニワトコ *Sambucus racemosa* L. subsp. *sieboldiana* (Miq.) H.Hara

岡部の樹林内に稀。

標本：岡部休戸郷休戸橋下流方面 alt. 230 m, 林縁に稀 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133600). 文献：M (ケナシニワトコ form. *glaberrima* H.Hara) S.

オミナエシ科 VALERINACEAE

◎オトコエシ *Patrinia villosa* (Thunb.) Juss.

水島 (1955) に「草地に少ない」、嶋根 (1980) に「岡部に少ない」と記録されたが、今回の調査では発見できなかった。

標本：岡部 大凸部, 尾根 草地 少し (水島正美, 6 Nov. 1954, TI). 文献：MS.

ウリ科 CUCURBITACEAE

◎キカラスウリ *Trichosanthes kirilowii* Maxim. var. *japonica* (Miq.) Kitam.

樹林内に稀。大里神社付近から池之沢に下るヤリの坂の廃道で見たのみ。

標本：ヤリの坂 alt. 250 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 20 Jul. 2010, KPM-NA0148342). 文献：M (uncommon) S (岡部に稀).

キキョウ科 CAMPANULACEAE

◎シマホタルブクロ *Campanula punctata* Lam. var. *microdonta* (Koidz.) Ohwi

路傍や崖地に普通。ホタルブクロの伊豆諸島固有変種。

標本：岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132171); 大千代 alt. ca. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071821, 18 Jul. 2010, TI). 文献：TMS.

キク科 ASTERACEAE (COMPOSITAE)

◎オカダイコン *Adenostemma madurense* DC.

樹林内にやや稀。かつてはヌマダイコン *A. lavenia* (L.) Kuntze と混同されていた。ヌマダイコンは湿地に生える植物で、常緑広葉樹林内に生えるものは本種である。

標本：岡部東台所神社 alt. 400 m, 神社石段 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133556). 文献：MS (ともにヌマダイコンとして記録).

◎カッコウアザミ *Ageratum conyzoides* L.

帰化。路傍に普通。

標本：岡部中原 alt. 280 m, 路傍 (勝山輝男, 14 Sep. 2008, KPM-NA0132435). 文献：MS.

◎ヨモギ *Artemisia indica* Willd. var. *maximowiczii* (Nakai) H.Hara

路傍や草地に普通。

標本：池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132401); 岡部大凸部登り口 alt.

350 m (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132476). 文献: T M (ニシヨモギで記録) S.

◎ハマコンギク *Aster microcephalus* (Miq.) Franch. & Sav. var. *littoricola* (Kitam.) Nor. Tanaka

路傍や草地に普通。

標本: 池之沢～タカトウ alt. 190 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131914); 岡部大凸部登り口 alt. 390 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133562). 文献: T M S (ノコンギクで記録).

◎コバノセンダングサ *Bidens bipinnata* L.

帰化。路傍にやや稀。

標本: 流し坂旧道 alt. 200 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132423 & KPM-NA0132424). 文献: M S.

◎シロノセンダングサ (コセンダングサ) *Bidens pilosa* L. var. *minor* (Blume) Sherff

帰化。路傍や荒地に普通。

標本: 池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132402); 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 100 m, 畑地 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133589). 文献: T (シロバナセンダングサで記録) M S.

○ヤブタバコ *Carpesium abrotanoides* L.

これまでの各文献に記録があり、水島 (1955) は「路傍に稀でない」と報告しているが、今回の調査では見出すことができなかった。

標本: 休戸郷～三宝港, 路傍 (M. Kato & E. Miki 144, 2 Nov. 1977, TI). 文献: T M S.

○キバナガンクビソウ (ガンクビソウ) *Carpesium divaricatum* Siebold & Zucc. var. *divaricatum*

これまでの各文献に記録があり、嶋根 (1980) は「池之沢に少ない」と記録したが、今回の調査では発見できなかった。

標本: 休戸郷～ヤリの坂, 稀 (水島正美, 4 Nov. 1954, TI). 文献: T M S.

◎イソギク *Chrysanthemum pacificum* Nakai

崖地や風衝草地に普通。

標本: 黒根 alt. 50 m, 海岸崖地 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133540); 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133541). 文献: T M S.

◎ハチジョウアザミ *Cirsium hachijoense* Nakai

草地に普通。伊豆諸島の固有種。

標本: 岡部神子の浦歩道 alt. 150 m, 草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131952, KPM-NA0131953 & KPM-NA0132243); 岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133553); 岡部尾山展望公園 alt. 390 m, 草地 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133557). 文献: T M S.

○アレチノギク *Conyza bonariensis* (L.) Cronquist

帰化。嶋根 (1980) は「岡部、畑地に少ない」と記しているが、今回の調査では発見できなかった。

文献: S.

◎オオアレチノギク *Conyza sumatrensis* (Retz.) E. Walker

帰化。路傍や荒地に普通。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m (支倉千賀子・勝山輝男, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132225); 池之沢丸山 alt.

ca. 180 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071813, 18 Jul. 2010, TI). 文献: M S.

◎ベニバナボロギク *Crassocephalum crepidioides* (Benth.) S. Moore

帰化。路傍や荒地にやや普通。

標本: 池之沢 alt. 100 m, 路傍 (普通) (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132112); タカトウ alt. 200-270 m (池田博・勝山輝男・加藤英寿 10072002, 20 Jul. 2010, TI). 文献: S.

◎ワダン *Crepidiastrum platyphyllum* (Franch. & Sav.) Kitam.

崖地や風衝草地に普通。

標本: 岡部神子の浦歩道 alt. 80 m, 急斜面岩礫地 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131954); 同 alt. 150 m (支倉千賀子・勝山輝男, 27 Apr. 2008, KPM-NA0132241); 平成流し坂 alt. 200 m, 道路法面崖地 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133545). 文献: T M S.

◎ブクリョウサイ *Dichrocephala bicolor* (Roth) Schldt.

路傍の草地に普通。

標本: 岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131971); 岡部休戸郷大里神社 alt. 340 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132187). 文献: T M S.

◎タカサブロウ *Eclipta prostrata* (L.) L.

路傍や荒地にやや普通。

標本: 池之沢青宝トンネル入口～恋ヶ奥入口 alt. 100 m, 資材置き場半裸地 (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132051). 文献: T M S.

●ウスベニニガナ *Emilia sonchifolia* (L.) DC.

路傍や荒地にやや普通。

標本: 池之沢四方平 alt. 98 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131771 & KPM-NA0132233).

○ウシノタケダグサ *Erechtites hieraciifolius* (L.) Raf. ex DC. var. *cacalioides* (Fisch. ex Spreng.) Griseb.

帰化。水島 (1955) に記録され、嶋根 (1980) は「池之沢・噴気孔地域に普通」と記録しているが、今回の調査では発見できなかった。

標本: ヤリの坂 (水島正美, 4 Nov. 1954, TI). 文献: M S.

◎タケダグサ (シマボロギク) *Erechtites valerianaefolia* DC.

帰化。路傍や荒地にやや普通。

標本: 池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132110); 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071917, 19 Jul. 2010, TI); 池之沢丸山 alt. 180 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148335). 文献: T M S.

◎ヒメムカシヨモギ *Erigeron canadensis* L.

帰化。路傍や畑地周辺に普通。

標本: 池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132403). 文献: M S.

●ハルジオン *Erigeron philadelphicus* L.

帰化。水島 (1955) や嶋根 (1980) には記録がないが、現在は路傍や草地にきわめて普通。20～30年間で島内で急増したと考えられる。ヒメジオンはまだ侵入していない。

標本: 岡部村役場 alt. 270 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131792).

- ケナシヒメムカシヨモギ** *Erigeron pusillus* Nutt.
帰化。路傍や荒地にやや普通。
標本：池之沢流れ坂下～大橋分岐 alt. 90 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132404).
- ◎**ツワブキ** *Farfugium japonicum* (L.) Kitam. var. *japonicum*
崖地や路傍に普通。
標本：岡部大凸部 alt. 410 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133550). 文献：TMS.
- ◎**ハキダメギク** *Galinsoga quadriradiata* Ruiz & Pav.
帰化。路傍や畑地周辺に普通。
標本：岡部大凸部登り口 alt. 350 m, 路傍 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132477). 文献：S.
- ◎**ハハコグサ** *Gnaphalium affine* D. Don
路傍や荒地に普通。
標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131750). 文献：TMS.
- ◎**チチコグサ** *Gnaphalium japonicum* Thunb.
路傍や荒地に普通。
標本：池之沢恋ヶ奥大杉入口 alt. 90 m, 路傍草地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131786). 文献：MS.
- チチコグサモドキ** *Gnaphalium pensylvanicum* Willd.
帰化。路傍や荒地に多い。
標本：池之沢丸山地熱サウナ付近 alt. 130 m, 地熱地帯裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131751).
- ウラジロチチコグサ** *Gnaphalium spicatum* Lam.
帰化。路傍や荒地に多い。本州では最近の20年間で急増した帰化植物であるが、青ヶ島でもすでに路傍や空き地に定着している。
標本：岡部村役場 alt. 270 m, 路傍 (普通) (勝山輝男, 5 Jul. 2008, KPM-NA0132115).
- ◎**スイゼンジナ** *Gynura bicolor* DC.
帰化。路傍に稀。
標本：岡部神子の浦歩道 alt. 150 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 27 Apr. 2008, KPM-NA0131951 & KPM-NA0132242). 文献：MS.
- オオジシバリ** *Ixeris debilis* (Thunb.) A. Gray
嶋根 (1980) は「岡部の路傍に普通」と記録しているが、今回の調査では見出すことができなかった。本種は水田畔などに生え、そのような環境のない青ヶ島の分布は疑問である。
文献：S.
- ◎**イワニガナ** *Ixeris stolonifera* A. Gray
路傍や崖地などに普通。
標本：岡部村役場 alt. 270 m (支倉千賀子・勝山輝男, 25 Apr. 2008, KPM-NA0132238) ; 池之沢三曾根ヶ崎 alt. 130 m, 地熱地帯 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131922). 文献：TMS.
- アキノノゲシ** *Lactuca indica* L.
水島 (1955) や嶋根 (1980) に記録がないが、現在では路傍にかなり普通の存在になっている。
標本：池之沢青宝トンネル入口～恋ヶ奥入口 alt. 100 m, 路傍 (普通) (勝山輝男, 7 Jul. 2008, KPM-NA0132055) ;

岡部休戸郷 alt. 230 m, 路傍草地 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133594).

◎**ヤマアキノノゲシ** *Lactuca raddeana* Maxim. var. *aogashimensis* (Kitam.) Katsuy.

路傍や風衝草地に稀。ヤマアキノノゲシ *L. aogashimensis* Kitam in Acta Phytotax. Geobot. 11: 269 (1942) は青ヶ島産の標本を Type として記載され、原記載中でヤマニガナ *L. raddeana* Maxim. var. *elata* (Hermsl.) Kitam. とアキノノゲシ *L. indica* L. の雑種とされた。しかし、水島 (1955) が指摘するように、ヤマアキノノゲシの瘦果はよく結実し、両面にはヤマニガナと同様の3肋があり、瘦果の両面に1稜があるアキノノゲシが関係しているとは思われない。ヤマアキノノゲシは茎・葉ともに全く無毛、葉が菱状倒卵形で縁に切れ込みがなく、質が厚く表面に光沢がある。ヤマニガナの葉の形や毛の有無には変化が多く、ほとんど葉が無毛の個体もあるが、葉は質薄く、表面に光沢はない。ヤマアキノノゲシは全体に剛壮で、葉は質が厚く、表面に光沢がある点でヤマニガナとは異なり、ヤマニガナが島嶼で分化した型と考えた。ヤマニガナはチョウセンヤマニガナ *L. raddeana* Maxim. var. *raddeana* の変種とされているので、ヤマアキノノゲシについても、チョウセンヤマニガナの変種 *L. raddeana* Maxim. var. *aogashimensis* (Kitam.) Katsuy. とすることを提案する。なお、チョウセンヤマニガナは瘦果の両面に4～5稜がある点でヤマニガナやヤマアキノノゲシと異なる。嶋根 (1980) のヤマニガナはヤマアキノノゲシを記録したものであろう。

標本：青ヶ島 (T. Tuyama, 19 Jul. 1933, Holotype of *L. aogashimensis* Kitam., TI) ; 青ヶ島 (藤川福二郎, 27 Jul. 1930, TI) ; 池之沢丸山 alt. 180 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148329) ; 大千代 alt. 200 m (勝山輝男・加藤英寿・池田 博, 18 Jul. 2010, KPM-NA0148339) ; 同 (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071822, 18 Jul. 2010, TI). 文献：M.

Taxonomic treatment:

Lactuca raddeana Maxim. in Bull. Acad. Sci. St.-Pét. 19: 526 (1874).

var. *aogashimensis* (Kitam.) Katsuy., stat. nov.

Lactuca aogashimensis Kitam. in Acta Phytotax. Geobot. 11: 269 (1942); M. Mizush. in Misc. Rep. Res. Inst. Nat. Res. no. 38: 112 & 126 (1955).

L. raddeana Maxim. var. *elata* Tuyama in J. Jpn. Bot. 14: 782 (1938), non. (Hermsl.) Kitam.

○**コオニタビラコ** *Lapsana apogonoides* Maxim.

嶋根 (1980) は「岡部の畑地に普通」と記録しているが、本種は冬～春の水田に生える植物で、「岡部の畑地」は生育環境が異なり、その分布は疑問である。
文献：S.

●**フランスギク** *Leucanthemum vulgare* Lam.

帰化。路傍に少ない。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡入口 alt. 270 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131933).

◎**フキ** *Petasites japonicus* (Siebold & Zucc.) Maxim. subsp. *japonicus*

集落周辺の路傍に稀。

標本：岡部休戸郷大里神社 alt. 340 m, 路傍 (勝山輝男, 4 Jul. 2008, KPM-NA0132188). 文献：S.

○コメナモミ *Sigesbeckia glabrescens* (Makino) Makino

水島 (1955) は稀、嶋根 (1980) は「池之沢に少ない」と記録しているが、今回の調査では発見できなかった。

標本：火口原 池之沢, 路傍 (M. Kato & E. Miki 124, 31 Oct. 1977, TI). 文献：M S.

◎ツクシメナモミ *Sigesbeckia orientalis* L.

路傍や荒地にやや普通。

標本：池之沢四方平 alt. 100 m, 林縁 (勝山輝男, 12 Sep. 2008, KPM-NA0132417) ; 岡部大凸部登り口 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男, 23 Nov. 2008, KPM-NA0133559). 文献：T M S.

●セイタカアワダチソウ *Solidago altissima* L.

帰化。路傍に増加しつつある。

標本：岡部休戸郷名主屋敷跡入口 alt. 270 m, 路傍 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133590).

◎ハチジョウアキノキリンソウ *Solidago virgaurea* L. subsp.

leiocarpa (Benth.) Hulten var. *praeflorens* Nakai

風衝草地にやや普通。アキノキリンソウの伊豆諸島固有変種。

標本：池之沢丸山 alt. 200 m, 路傍草地 (勝山輝男・小久保恭子, 24 Nov. 2008, KPM-NA0133566) ; 岡部休戸郷 alt. 230 m, 路傍草地 (勝山輝男・小久保恭子, 25 Nov. 2008, KPM-NA0133595). 文献：T (アキノキリンソウで記録) M S (アキノキリンソウ).

●オニノゲシ *Sonchus asper* (L.) Hill

帰化。路傍に普通。

標本：岡部神子の浦下り口 alt. 250 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131947).

◎ノゲシ *Sonchus oleraceus* L.

路傍に普通。

標本：岡部休戸郷 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 26 Apr. 2008, KPM-NA0131928). 文献：T M S.

◎セイヨウタンポポ *Taraxacum officinale* Weber

帰化。路傍に普通。

標本：岡部村役場 alt. 270 m, 路傍裸地 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131791). 文献：S.

◎オニタビラコ *Youngia japonica* (L.) DC.

路傍や畑地周辺に普通。

標本：大千代分岐 alt. 300 m, 路傍 (勝山輝男・支倉千賀子, 25 Apr. 2008, KPM-NA0131745) ; 岡部大凸部 alt. 380 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071901, 19 Jul. 2010, TI) ; 岡部平ノ耕地 alt. 200 m (池田 博・勝山輝男・加藤英寿 10071906, 19 Jul. 2010, TI). 文献：T M S.

引用文献

Ebihara, A., S. Matsumoto & M. Ito, 2009. Taxonomic of the reticulate *Vandenboschia radicans* complex (Hymenophyllaceae) in Japan.

Acta Phytotax. Geobot., **60**: 26-40.

林 弥栄, 1963. 新植物短報. 北陸の植物, **11**: 117-118.

Inoue, K., M. Hasegawa & S. Kobayashi, 1997. A new species of *Clerodendrum* (Verbenaceae) from the Izu Islands. *J. Jpn. Bot.*, **72**: 117-124.

岩槻邦夫, 1992. 日本の野生植物 シンダ. 311pp.+196pls. 平凡社, 東京.
勝山輝男, 2009. 伊豆諸島に帰化した日本新産帰化植物ヒメミクリガヤツリ (新称) (カヤツリグサ科). 莎草研究, (14): 17-19.

勝山輝男, 2010. 青ヶ島のスゲ属植物. 莎草研究, (15): 7-9.

城川四郎, 2001. キンボウゲ科. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2001, pp.682-707. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.

Kitamura, S., 1942. Expositions Plantarum Novarum Orientali-Asiaticarum VIII. *Acta Phytotax. Geobot.*, **11**: 266-271.

木場秀久, 2005. 県内のカニツリグサの種内変異. FLORA KANAGAWA, (60): 741-743.

Lee, Y. N., 1964. Taxonomic studies on the genus *Miscanthus* (5), Relationships among the section, subsection and species. Part. 3 Enumeration of species and varieties. *J. Jpn. Bot.*, **39**: 289-297.

Melchior, H., 1964. A. Engler's Syllabus der Pflanzenfamilien, II. 666pp. Gebru der Borntraeger, Berlin.

水島正美, 1955. 青ヶ島の高等植物. 資源科学研究所彙報, (38): 106-126.

Mizushima, M., 1956. Additional notes on the flora of Ins. Aogashima (1). *Misc. Rep. Res. Inst. National Resources*, (41-42): 76-80.

Mizushima, M., 1957a. A revision of *Drymaria cordata* Willd. *J. Jpn. Bot.*, **32**: 69-81.

Mizushima, M., 1957b. Additional notes on the flora of Ins. Aogashima (2). *Misc. Rep. Res. Inst. National Resources*, (45): 64-68.

Nishida, M. & S. Kurita, 1980. *Ophioglossum parvum*, a new species from warm temperate zone of Japan. *J. Jpn. Bot.*, **55**: 105-113.

野口達也, 2004. 栃木県産種子植物の観察 (4). フロラ栃木, (12): 54-63.

Ohba H. & S. Akiyama, 2002. A synopsis of the endemic species and infraspecific taxa of vascular plants of the Izu Islands. *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, (38): 119-160.

大場達之, 1975. ハチジョウウイタドリシマタヌキラン群集 伊豆諸島のフロラの成立にふれて. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (8): 91-106.

Sahashi, N., 1980. Morphological and taxonomical studies on *Ophioglossales* in Japan and the adjacent regions (4), Comparative morphology of spores of some species in *Ophioglossales*. *J. Jpn. Bot.*, **55**: 73-80.

嶋根豪全, 1980. 青ヶ島の植物. 青ヶ島村教育委員会編, 青ヶ島の生活と文化, pp.190-237. 青ヶ島村役場, 青ヶ島村.

東京都教育委員会編, 1960. 東京都文化財報告書 8. 伊豆諸島文化財総合調査報告書 第3分冊, pp.875-916. 東京都教育委員会, 東京.

津山 尚, 1938. 青ヶ島ノ植物. 植物研究雑誌, **14**: 773-783.

津山 尚, 1940. 青ヶ島ノ植物ノ補遺. 植物研究雑誌, **16**: 503

Yamamoto, K., N. Murakami & A. Ebihara, 2010. The distribution of *Dryopteris caudipinna* (Dryopteridaceae), a sexually reproducing counterpart of the apogamous *D. erythrosora*, in Japan. *Acta Phytotax. Geobot.*, **61**: 109-114.

摘 要

勝山輝男・支倉千賀子・小久保恭子, 2011. 伊豆諸島青ヶ島の維管束植物. 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), (40): 7-34. (Katsuyama T, C. Hasekura & K. Kokubo, 2011. An annotated checklist of the vascular plants of Aogashima Island in the Izu Islands, Japan. *Bull. Kanagawa prefect. Mus. (Nat. Sci.)*, (40): 7-34.)

青ヶ島は伊豆諸島に属す火山島で、八丈島の南 67 km にある。2008 と 2010 年に島に渡り植物調査を行い、334 種の植物を採集した。本報では採集した標本リストに文献記録を加えて、青ヶ島の維管束植物リストを作成した。今回の調査で新たに記録された植物は 92 種あり、その多くは帰化植物や人里植物であった。一方、文献記録にあり、今回の調査で採集できなかった植物は 45 種あった。また、青ヶ島産の植物に基づいて記載されたヤマアキノノゲシ *Lactuca aogashimensis* を再発見することができた。ヤマアキノノゲシは本州に広く分布するヤマニガナ *Lactuca raddeana* var. *elata* が島嶼で分化したものと考え、学名は *Lactuca raddeana* var. *aogashimensis* とすることを提案した。

(受付 2010 年 11 月 22 日 ; 受理 2011 年 2 月 3 日)